令和４年度
（2022 年度）

事 業 報 告 書
（鹿島市民図書館）

一財）鹿島市民立生涯学習・文化振興財団

令和 5 年 6 月 22 日

目次

Ⅰ 総括 3
1 図書館運営全般 3
1）総括 3
2）利用状況 6
2 施設 7
1）開館状況 7
2）館内設備等 7
3 組織 8
1）一般財団法人 鹿島市民立生涯学習･文化振興財団【図書館】 8
2）鹿島市図書館協議会 8
Ⅱ 蔵書管理･資料収集 9
1 蔵書管理 9
1）蔵書数 9
2）貴重資料蔵書数 9
3）蔵書点検･図書館システム更新 10
2 資料収集･除籍 12
1）資料収集 12
2）資料除籍 12
Ⅲ 利用者サービス 13
1 レファレンス 13
1）レファレンス受付実績 13
2）貴重資料の利用状況 13
3）資料複写 13
4）成果と課題 13
2 外部との連携･協力･アウトリーチ 14
1）選書依頼受付･貸出実績 14
2）みにみに図書館（巡回図書） 14
3）アウトリーチ貸出 16
3 予約 17
1）実施実績 17
2）成果と課題 17
4 相互貸借 17
1）実施実績 17
2）成果と課題 17
Ⅳ 企画事業等実績 18
1 児童 18
1）企画事業 18
2）広報 22
3）展示 22
2 ティーンズ 23
1）広報 23
2）展示 23
3 一般 24
1）企画事業 24
2）広報 26
3）展示 27
4 高齢者 28
1）高齢者サービス全般 28
2）企画事業 28
3）広報 29
4）展示 29
5 他機関との連携等 30
1）研修･図書館見学 30
3）ボランティア 34
Ⅴ 学芸部 35
学芸部事業実績 35
1）講演 35
2）展示 39
3）古文書 39
4）鹿島歴史文庫『田澤義鋪 ～今につながる政治教育の「源流」～ 』 40
5）外部委員･派遣依頼 40
Ⅵ その他 41
1 寄附 41
1）市民の方（匿名） 41
2）志田玲子 様ご遺族（志田知之 様） 41
3）ふるさと納税 41
2 助成事業「偉人マンガの製作と活用事業」 42
1）図書部 42
2）学芸部 42
3 その他 43
1）新型コロナウイルス及び災害等対応等 43
2）パート職員募集について（欠員補充） 44
3）予約本配達サービス（試行） 44
4）“あい さが”（佐賀県立視覚障害者情報･交流センター）との連携貸出開始 44
5）「佐賀うちどくフェスティバル in 鹿島」について 44
資料）館内特集一覧 45

Ⅰ　総括

1　図書館運営全般

1）総括

図書館では、指定管理３期目（令和元年度～令和５年度）の４年目である令和４年度も、「一般財団法人鹿島市民立生涯学習･文化振興財団」の理念である“市民力を活かした運営”を念頭に、地域に根ざした生涯学習の拠点として、図書館の利用促進及び読書習慣の定着を図るべく、様々な活動を実施した。

（1）利用状況全般

利用状況については、令和３年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた１年であった。新規感染者数については、令和４年６月下旬から第７波、引き続く 10 月下旬から第８波の感染拡大となり、更に、令和５年１月には、佐賀県内でも過去最多の新規感染者数となった。このように新規感染者数が増加傾向を示す一方で、緊急事態宣言は発出されなかったことから臨時休館や県外在住者の利用制限等には至らず、新型コロナウィルスに起因した開館日数の減少による利用者への影響はなかった。ただし、感染拡大の状況と基本的な感染拡大予防対策を考慮し、年間を通じて館内滞在時間の制限、閲覧席の使用制限等を設定し、利用者の快適な図書館利用を制限せざるを得ない環境が継続した。

令和 4 年度は、政府の対処方針の推移に呼応して発出された図書館関係のガイドライン（「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」　公益社団法人日本図書館協会）等を対応の基本としながら、数回にわたって段階的に利用制限の緩和を行ってきた。しかしながら、結果として、令和４年度の入館者数は、変動しながら低迷を継続し、前年度比 97.2%とやや減少となり、また、貸出人数、貸出冊数も、それぞれ前年度比 93.2%、95.4%と、いずれも入館者数より少し減少傾向が大きくなっている。利用状況がコロナ禍前の様相にまで復帰するには、未だ相当の期間が必要になると予想される。

（2）第７次総合計画 目標（令和３年度～令和７年度）

>>> 施　　策　　名：図書館の利用促進、特に新規利用者の獲得に向けた事業展開

>>> 目標・指標等：巡回図書貸出冊数の増加　令和元年度比 10%増（2,904 冊 → 3,200 冊）

【内訳】保育園１箇所：50 冊／月 … 令和３年度に実施済（2 箇所　計 100 冊）

事業所１箇所：50 冊／月 … 令和５年度に実施予定

子育て支援センター（小学生以上向け）：30 冊／月

市内各小学校（4 年生以上向け）：30 冊×7 校＝210 冊／月

… 令和４年度に実施済（50 冊×7 校＝350 冊／月）

「第 7 次鹿島市総合計画」の目標である「巡回図書館貸出冊数（ひと月当たり）」に関しては、令和 7 年度目標を、令和元年度比 10%増（単年度目標：2%増）と設定した。令和７年度目標を 100%とした場合、令和４年度の達成率は 104.8%（令和元年度比 15.5%増）であり、余裕をもって達成できた。このことは、担当が新規利用者の獲得・開拓に向けた積極的な広報活動を行い、令和３年度から計画以上の新規利用者の獲得ができていることに加え、令和３年６月から休止していた保健センター向けの「みにみに図書館」が、令和４年６月から１年ぶりに再開したことが大きく影響したと思われる。

（３）利用者サービス／企画事業

利用者サービスや企画事業については、5 年間の長期目標の中から、令和 4 年度事業計画に示した重点的に取り組む事項に基づき、以下のとおり実施した。

①図書館

館外施設での貸出･返却システムの充実化 ※分館にかわるサービスの提供･充実

・「みにみに図書館」巡回箇所の増設：第７次総合計画目標に連動
・予約本配送サービスの実施に向けた検討（ニーズの把握やルールづくり）をすすめる

書架や館内読書環境の刷新

・適切な書庫入れと除籍によって魅力的かつ高機能な開架書架を実現
・図書の貸出実績を統計的に分析し回転効率が高く市民ニーズにマッチした書架構成と館内動線の実現

レファレンスサービス･ＷＥＢサービスの充実と強化

・レファレンスデータベースの継続作成
・図書館ホームページやＷＥＢサービスの周知徹底

企画･展示事業の新展開

・図書館職員の人材力を活かした企画等の実施
・子育て支援のターゲットを母親から父親･祖父母にも広げ母親のゆとりを作る事業を展開
・ゲストティーチャー等、学校との連携強化でさらなる読書推進に努める
・中高生のニーズ把握のためアンケートを実施し中高との連携を模索
・行政、議員、地域の団体等を支援するために団体選書貸出を検討
・エイブル事務局との連携展示を実施し、えいぶる講座利用者の図書館来館につなげる
・絵本読み語り隊での高齢者施設スタッフへの支援を継続　→ 代替事業（高齢者事業所貸出セット）を実施（p. 28）

市民ボランティアの活用

・草樹木の手入れ、読み語り、本の修理などの分野で市民ボランティアの活用を推進

②学芸部

学芸部業務の拡充

・鹿島市に残る貴重な歴史史料の調査と研究
・成果の地域還元を目的とした展示･講演･書籍編纂などの実施
・鹿島市、エイブル、図書部と連携した展示･講演の実施
・鹿島市所蔵の古文書や寄贈･寄託古文書の収蔵と管理
・古文書のデジタル化とその利用促進
・外部の組織･機関との連携強化
・県西部地区における歴史･文化の情報発信拠点の構築
・事業の拡大のための外部資金獲得　→ 令和 4 年度は未実施

令和 4 年度は、国内で初めて新型コロナウイルスの感染が確認された令和 2 年 1 月以降、令和 3 年度までの新型コロナウイルス感染拡大による諸般の影響を教訓として、それぞれの企画事業を展開した。これにより、計画の段階から従前の実施要領を変更しておくことで、ほとんどの企画事業について実施の時点で中止･延期とすることなく、予定どおりに実施することができた。

指定管理 3 期目の最終年度に当たる令和 5 年度は、これまでの振り返りと成果の今後への反映のため、5 年間の目標として定めたサービスについて、市民のニーズ、地域への貢献との整合性を図ることによって、在るべきサービスの方向性を追求し、より市民に寄り添ったサービスの提供に努めていく。また、複数年度にわたる連続目標として、第 7 次鹿島市総合計画の目標達成状況の維持に向けての取り組みを継続していく。

この際、令和 5 年 5 月からの新型コロナウィルスの感染症法上の位置づけ変更に伴う状況の変化に対応しつつ、図書館としての基本的なサービス（蔵書管理、貸出･返却、レファレンス等）の質を維持していきながら、市民が必要としているサービスを提供できるよう、時代に合わせた新しい形のサービスも追求し、誰もが安心して利用できる図書館を目指していく。

>>>５年間の目標（令和元年度～令和５年度）

【図書館の抱える課題】
１．人口減少、人口動態変化による利用者減少
２．中高生世代の利用低迷
３．働く世代や子育て世代の利用者減少
４．情報端末等の普及に伴う図書離れ、文字離れの進行
５．高齢者の利用増加

【今後の取組み予定】
上記課題から見えてくる今後のサービスの可能性は以下のとおり。社会情勢の変化や地域のニーズをくみ取りながら、段階的に検討･実施していきたい。

１．館外施設での貸出･返却システムの充実化（分館にかわるサービスの提供･充実）
① 巡回図書（みにみに図書館）箇所の増設：主として企業を新規開拓　※目標５箇所
② 返却ポストの増設：遠隔地利用者の増加と利便性の向上、既存みにみに図書館の活用促進
③ 出張貸出箇所や出張回数の増加
④ 予約本配達サービスの実施：出張時や巡回時に予約本の配達（企業からの要望有り）
⑤ これらサービスを行うための車両の確保（各種助成金に申請予定）

２．書架や館内読書環境の刷新（フロアのリニューアル）
① 適切な書庫入れと除籍によって魅力的かつ高機能な開架書架を実現
② 図書の貸出実績を統計的に分析し回転効率が高く市民ニーズにマッチした書架構成と館内動線の実現
③ 地域資料担当と学芸部が連携して郷土コーナーの書架構成を大幅変更し鹿島市の魅力の発信力を強化
④ 利用者の利便性向上を目的にフロアマップを効果的に配置･配布
⑤ 乳幼児から高齢者まで気兼ねなく過ごせる環境を目指しやタイムシェアリングを検討

３．レファレンスサービス･WEB サービスの充実と強化
① 地域資料担当と学芸部が連携し書誌情報の充実化を図り資料検索効率の向上を実現
② レファレンスデータベースの継続作成
③ HP や WEB サービスの周知徹底
④ 図書館の利活用講座をえいぶる講座等と連携して開催

４．企画･展示事業の新展開
① 図書館職員の人材力を活かした企画等の実施
② 子育て支援のターゲットを母親から父親･祖父母にも広げ母親のゆとりを作る事業を展開
③ ゲストティーチャー等、学校との連携強化でさらなる読書推進に努める
④ 中高生のニーズ把握のためアンケートを実施し中高との連携を模索
⑤ 行政、議員、地域の団体等を支援するために団体選書貸出を検討
⑥ エイブル事務局との連携展示を実施し、えいぶる講座利用者の図書館来館につなげる
⑦ 保健センターや包括支援センターと連携した健康に関する企画を立案
⑧ 高齢者の図書館利用を促進するような企画の立案
⑨ 読み語り隊での施設スタッフへの支援を継続

５．市民ボランティアの活用
① 草樹木の手入れ、読み語り、本修理などの分野で市民ボランティアの活用を推進

６．学芸部業務の拡充
① 児童向け鹿島歴史本の制作と刊行
② 鹿島市に残る貴重な歴史史料の調査と研究
③ 成果の地域還元を目的とした展示、講演、編纂などの実施
④ 鹿島市、エイブル、図書部と連携した展示、講演の実施
⑤ 鹿島市所蔵の古文書や寄贈･寄託古文書の収蔵と管理
⑥ 古文書のデジタル化とその利用促進
⑦ 外部の組織･機関との連携強化
⑧ 県西部地区における歴史･文化の情報発信拠点の構築
⑨ 事業の拡大のための外部資金獲得

２）利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出冊数	Ｒ４	18,627	18,136	18,620	20,486	18,952	12,991	19,887	17,887	16,666	18,833	17,819	18,652	217,556
	Ｒ３	19,346	21,183	19,539	22,153	21,515	14,191	20,171	17,643	17,003	19,240	17,124	18,844	227,952
	Ｒ３年度比	96.3%	85.6%	95.3%	92.5%	88.1%	91.5%	98.6%	101.4%	98.0%	97.9%	104.1%	99.0%	95.4%
開館日数	Ｒ４	25	24	25	26	24	13	25	23	23	23	22	25	278
	Ｒ３	24	25	25	26	22	13	22	22	23	23	22	26	273
	Ｒ３年度比	104.2%	96.0%	100.0%	100.0%	109.1%	100.0%	113.6%	104.5%	100.0%	100.0%	100.0%	96.2%	101.8%
入館者数	Ｒ４	5,662	5,820	6,197	7,178	6,777	3,339	5,994	5,996	5,099	5,560	5,855	5,895	69,372
	Ｒ３	5,852	6,384	6,368	7,594	6,951	3,625	5,973	5,974	5,703	5,783	5,109	6,040	71,356
	Ｒ３年度比	96.8%	91.2%	97.3%	94.5%	97.5%	92.1%	100.4%	100.4%	89.4%	96.1%	114.6%	97.6%	97.2%
貸出人数	Ｒ４	3,736	3,630	3,790	4,098	3,918	2,146	3,830	3,517	3,119	3,675	3,391	3,700	42,550
	Ｒ３	3,826	4,319	4,103	4,365	4,277	2,411	3,967	3,591	3,455	4,020	3,525	3,812	45,671
	Ｒ３年度比	97.6%	84.0%	92.4%	93.9%	91.6%	89.0%	96.5%	97.9%	90.3%	91.4%	96.2%	97.1%	93.2%
鹿島市人口	Ｒ４	27,987	27,974	27,970	27,950	27,959	27,940	27,922	27,922	27,914	27,857	27,839	27,692	-
	Ｒ３	28,394	28,365	28,345	28,318	28,324	28,324	28,310	28,277	28,253	28,215	28,177	28,007	-
	Ｒ３年度比	98.6%	98.6%	98.7%	98.7%	98.7%	98.6%	98.6%	98.7%	98.8%	98.7%	98.8%	98.9%	-

※貸出冊数：個人･団体･みにみに（巡回分含む）･相互貸借（他館への貸出）

(参考)第7次 鹿島市総合計画目標達成率　～図書館の利用促進、特に新規利用者の獲得･開拓に向けた事業展開～

目標：巡回図書館貸出冊数（ひと月当たり）
2,904冊／月（令和元年度）→ 3,200冊／月（令和7年度）　　※令和元年度比10%増

		R3	R4	R5	R6	R7	Ｒ7目標
目標		3,200冊	3,200冊	3,200冊	3,200冊	3,200冊	3,200冊
実施実績	冊数	2,804冊	3,354冊	-	-	-	3,200冊
	達成率	93.9%	104.8%	-	-	-	100.0%

※2,804冊：R3年度末時点（R3年度最大は6月の3,044冊）

２ 施設

１）開館状況

休 館 日：月曜日　毎月最終木曜日　祝日の翌日　年末年始　特別整理期間
開館時間：月～金　9：30 ～ 19：00
　　土日祝　9：30 ～ 17：00

>>> 9 時半開館について
・条例では 10 時開館となっているが、サービス向上のため実施
・平成 24 年度（平成 25 年 2 月）から試験的に開始、平成 25 年度に本格始動
・令和 4 年度も継続

２）館内設備等

閲　覧　席	121 席
視聴覚ブース	DVD：6 ブース 14 席
視聴覚ブース	DVD／ビデオ：1 ブース 2 席
視聴覚ブース	CD：1 ブース 1 席
館 内 OPAC	2 台
利用者用 PC（本の検索及びデジタルデータ閲覧等）	2 台
コ ピ ー 機（著作権の範囲内で図書館資料のみ複製可）	1 台
拡大読書器	1 台
授乳コーナー（おはなしのへや内）	1 箇所

3 組織

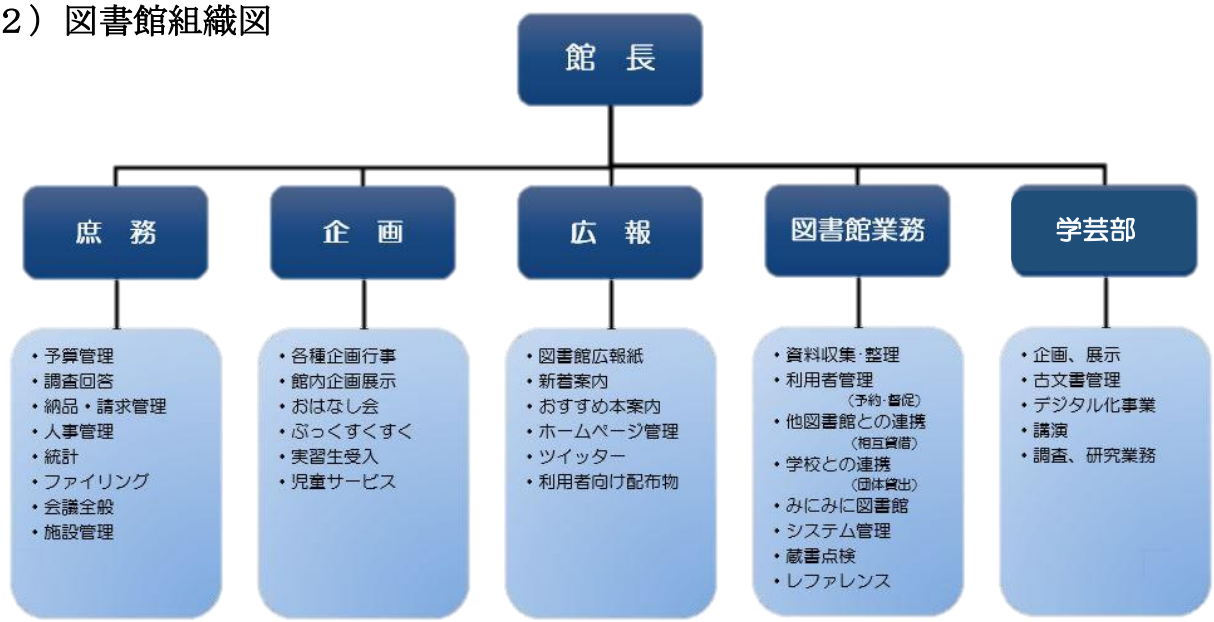
1）一般財団法人 鹿島市民立生涯学習･文化振興財団【図書館】

（1）令和４年度 職員体制

図書館長		1名
正規職員	（図書館）	8名
准職員	（図書館）	3名
パート	（図書館）	2名
登録パート	（図書館）	6名
正規職員	（学芸部）	1名
	計	21名

※令和５年３月 31 日現在

（2）図書館組織図



2）鹿島市図書館協議会

（1）図書館協議会委員

（任期：令和４年６月１日～令和６年５月 31 日）

根拠法	氏名	選出区分	備考
図書館法第１５条 鹿島市図書館設置条例第９条	杉原 潔	学識経験者	会長
	吉武 弘美	学識経験者	副会長
	永田 直子	学識経験者	
	藤川 直子	学識経験者	
	吉牟田 満	学識経験者	
	西河 弘史	学識経験者	
	橋本 良子	学校教育関係	

（2）令和４年度 開催実績

第１回	令和４年	７月	29日（金）
第２回	令和４年	12月	８日（木）
第３回	令和５年	２月	17日（金）

Ⅱ 蔵書管理・資料収集

1 蔵書管理

1）蔵書数

（1）蔵書総数

	H30	R1	R2	R3	**R4**
蔵書数	199,317	200,787	200,309	199,522	**197,800**

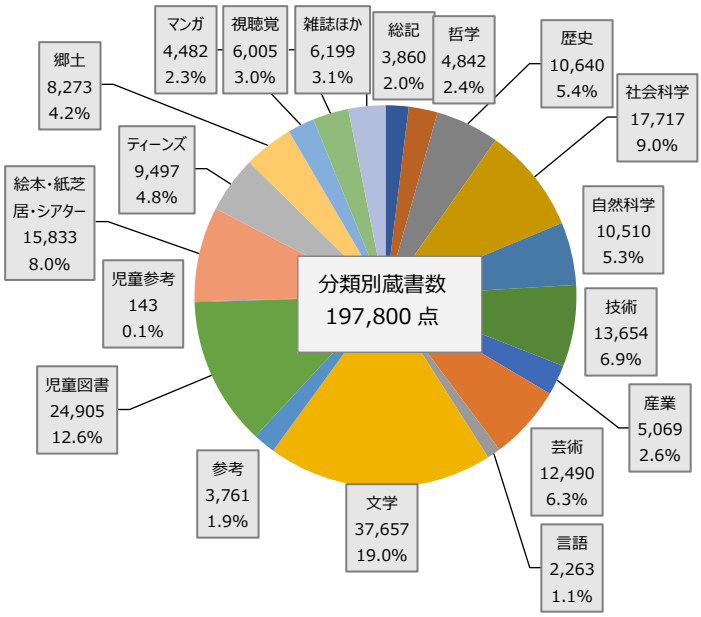
（単位：点）

（2）分類別蔵書数

分類	蔵書数	構成率
総記	3,860	2.0%
哲学	4,842	2.4%
歴史	10,640	5.4%
社会科学	17,717	9.0%
自然科学	10,510	5.3%
技術	13,654	6.9%
産業	5,069	2.6%
芸術	12,490	6.3%
言語	2,263	1.1%
文学	37,657	19.0%
参考	3,761	1.9%
児童図書	24,905	12.6%
児童参考	143	0.1%
絵本・紙芝居・シアター	15,833	8.0%
ティーンズ	9,497	4.8%
郷土	8,273	4.2%
マンガ	4,482	2.3%
視聴覚	6,005	3.0%
雑誌ほか	6,199	3.1%
計	197,800	100.0%

（単位：点）

令和 4 年度末の蔵書数は、前年度より 1,722 点減少し、197,800 点となった。



2）貴重資料蔵書数

資料形態	所蔵機関	所蔵点数
原本	当館所蔵	1,070
複製	原本他機関所蔵	4,279
地図	当館所蔵	28
デジタル化資料	原本当館所蔵	1,123
	原本他機関所蔵	865
計		7,365

（単位：点）

令和 4 年度末時点で、当館所蔵の貴重資料として閲覧に供している貴重資料数は 7,365 点で、前年度からの増減はない。

※当館所蔵資料：原本とデジタル両方が存在するものは
それぞれにカウントしている。

３）蔵書点検･図書館システム更新

（１）蔵書点検

①蔵書点検結果

蔵書点検では、利用者へより効率良く資料提供ができるよう、蔵書の一斉点検のほか、不明資料等の捜索や資料データのチェック及び修正、書架の配置換え、資料表示の工夫など長期の休館中にしかできない作業を行った。

令和４年度、蔵書点検により不明と判断された資料は 34 点で、内訳は以下のとおり。

>>> 内訳：蔵書点検不明８点※／不明０点／強制不明 26 点

※蔵書点検不明本について：点検期間の後に３点発見され、令和４年度末時点で残り５点となった。

			H30	R1	R2	R3	**R4**
期間			10/1（月）～10/5（金）	9/30（月）～10/4（金）	10/5（月）～10/9（金）	10/4（月）～10/8（金）	**9/16（金）～9/30（金）**
点検前蔵書冊数			199,207	201,192	202,107	201,669	**200,799**
蔵書点検不明･不明･強制不明	当該年度発生分	件数	31	18	14	19	**34**
		金額	¥42,783	¥23,057	¥19,150	¥20,469	**¥35,812**

補足）「蔵書点検不明」「不明」「強制不明」について

「蔵書点検不明」及び「不明」……データ上は貸出状態になっていないが、見つからない資料。
貸出処理漏れ･貸出処理を経ていない持ち出し･盗難などが考えられる。
そのことが蔵書点検前に判明した資料は「不明」、
蔵書点検期間中に判明した資料は「蔵書点検不明」として処理。

「強制不明」……データ上貸出となったままだが、利用者から返却済みとの回答があり、
かつ、館内を探しても見つからない資料など。また、一年以上督促の
努力をしたにも関わらず、回収不能だった資料もここに含まれる。

②成果と課題

蔵書点検では、図書館の所蔵資料を点検し、紛失資料の有無を把握する。所蔵資料の検索をインターネットから簡単に行えるようになり、利用者の資料要求に的確に応えるため蔵書点検は従来に増して重要な作業となっている。令和４年度の蔵書点検不明の冊数は８点で、佐賀県内図書館の中ではかなり低い数字となっている。日頃から職員が整理し管理が行き届いていること、BDS（盗難防止装置）の効果、市民のモラルの高さ等が理由と考えられる。

本来蔵書点検は、蔵書を元の位置に戻し、時代やニーズを考慮しつつ開架書架で不要なものは書庫に入れ、書庫で不要なものは除籍に回し書架の空きに余裕を持たせて行うため、相当な時間を要する。平成 23 年度から、開館日数確保のために蔵書点検期間を大幅に短縮させており、書架移動等の大掛かりな作業は時間が足りず、限定的にしか実施できない。本並べ･書庫入れ･除籍は日頃のルーティンワークで各々行いカバーしているが、ここ数年はコロナ対策の消毒作業のためそれらを思うように行うことができていなかったのが現状である。

利用者の読書意欲を刺激するために、書架に変化を持たせる必要があるので、職員間で市民のニーズにマッチした書架構成と館内動線がどのようなものか検討・共有し、少しずつ書架リニューアルを実行していく。

（２）図書館システム更新

①実施実績

令和４年９月 30 日でリース満了となる図書館システムの更新を９月 16 日～9 月 30 日の蔵書点検期間に実施し、10 月１日から新システムで稼働中。概要は以下のとおり。

＜システム更新概要＞
導入業者：株式会社 BCC（取扱い図書館システム：NEC Lics-Re3）
リース業者：FLCS 株式会社九州支店

＜おすすめ機能＞
・スマートフォンで図書館カードのバーコード表示が可能に
※利用には図書館の利用者登録及び図書館ホームページでのパスワード登録が必要。
・ホームページリニューアル
→やさしい色合いでより見やすいホームページに。
→本の検索や図書館からのおしらせ確認はもちろん、ログイン機能を使えば、資料の予約や自身の利用状況（貸出･予約など）の確認も可能。

②成果と課題

図書館システム更新では、令和４年９月 30 日でリース契約期間が終了する図書館システム及び機器の入替えを行い、新たな図書館システムを導入した。業務の安定と効率化及び機能強化を図るためハードウェア、ソフトウェアともに十分な性能のものとすることで利用者、職員ともに快適に利用できるシステムとなった。新たに、スマートフォンでの図書館カードのバーコード表示機能が加わり、カード忘れの際もこの機能を使って貸出が可能となった。また、ホームページもリニューアルし、以前より見やすくわかりやすいデザインで利便性の向上につながった。

更新により使いやすくなったシステムだが、日々社会は変化しており利用者が求めている機能もどんどん変わっていく。利用者にとってより使いやすいシステムとなるようシステム会社と連携しながら対応していく。

2　資料収集・除籍

1）資料収集

（1）受入実績

令和４年度は、図書資料 5,541 点、視聴覚資料 113 点、雑誌 152 種 2,029 点、新聞 13 種を受け入れた。

	購入	寄付金	寄贈ほか※	計
図書	4,608	443	490	5,541
視聴覚	105	0	8	113
雑誌	1,966	0	63	2,029
計	6,679	443	561	7,683

（単位：点）

>>> 年度別受入数の推移

	H30	R1	R2	R3	**R4**
自館購入	7,048	7,021	6,874	6,616	**6,679**
寄付･寄贈他	849	1,011	327	876	**1,004**
計	7,897	8,032	7,201	7,492	**7,683**

（単位：点）

※寄付金：ふるさと納税、市民からの寄付金等による購入
※寄贈ほか：寄贈、弁償資料で登録したもの、図書館作成の資料等が入る。

（2）成果と課題

市民が求める本は何なのか、職員一同日々考えながら選書を行っている。毎週「新刊全点案内」をチェックしたり、佐賀県立図書館から配送される新刊児童書の現物見計らいを行ったり、一般書についても可能な限り書店や出版社の見計らいを受入れながら選書している。令和４年度は、２年ぶりに県外での見計らい市にも行くことができた。人気の高い本だけでなく、利用は少ないが図書館でしか見ることのできないような参考図書や、利用者からのリクエスト等をバランスよく選ぶようにしている。

前年度に引き続き、令和 4 年度も鹿島市生涯学習課を通して、図書館資料へのふるさと納税充当金 80 万円で、主に新刊児童書を購入してもらった。また、新刊だけでなく、汚破損のひどい定番本や内容の古くなった図鑑等の買替えも行った。

雑誌については、当館の所蔵雑誌のうち令和３年度に休刊したのは３誌だったが、令和４年度は８誌あった。雑誌の出版不況で紙媒体の休刊が相次いでおり、代替雑誌の選定作業は増え続けている。

その他、図書館協議会で指摘のあった新着本コーナーでの新着本の紹介方法については、一部新着本帯の貼り出し方法を変更するなどの改善を図った。今後も試行錯誤を続けていく。

2）資料除籍

（1）除籍実績

令和４年度も、年２回の除籍を行い、蔵書構成の再構築に取り組んだ。除籍は「鹿島市民図書館資料廃棄基準」に基づき、情報が古く正確でなくなった資料等を中心に適切に実施している。

	蔵書構成のための除籍※1	保存期限切れ	その他※2	計
図書	6,681	0	457	7,138
視聴覚	41	0	14	55
雑誌	0	2,172	40	2,212
計	6,722	2,172	511	9,405

（単位：点）

>>> 年度別除籍数の推移

	H30	R1	R2	R3	**R４**
蔵書構成ための除籍	3,963	3,938	4,578	5,255	**6,722**
保存期限切れ	2,171	2,117	2,197	2,196	**2,172**
その他	248	507	904	828	**511**
計	6,382	6,562	7,679	8,279	**9,405**

（単位：点）

※１：蔵書構成のための除籍…内容が古く記述が不正確な資料、
新版･改訂版･類書等で代替可能な資料、
５年以上利用がなく保存価値がないと判断され相互貸借が可能な資料等
※２：その他…弁償済、汚破損資料、不明資料等

（2）成果と課題

令和４年度の除籍数は、前年度より 1,126 点多い 9,405 点となり、前年度に引き続き、年間の図書除籍冊数が受入冊数を上回った。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための館内の消毒作業などでルーティンワークの時間が削られている中、時間を捻出し書架整理と除籍に努めた。しかし、まだ本が詰まっていて使いにくい書架も多くある。ペースを落とさず除籍を繰り返し、適正な収容冊数に近づけて利用しやすい書架、また、鮮度を感じられる書架づくりを行っていく。除籍を進めるほど、郷土資料や貴重資料等、除籍できない本の蓄積が著しくなる。１冊１冊の除籍選定が難しく、時間のかかる作業となっているが、根気強く行っていく。

Ⅲ 利用者サービス

1 レファレンス

1）レファレンス受付実績

	H30	R1	R2	R3	**R4**
件数	455	492	349	308	**267**

（単位：件）

※「○○（タイトル等）という本はどこにあるか？」等の単なる本の場所のおたずねはレファレンス件数に含まない。
※平成 23 年度から従来のカウント方法を見直し、レファレンスとして対応した件数を正確に把握するようにした。

2）貴重資料の利用状況

（1）国立国会図書館デジタル化資料

令和 4 年度における国立国会図書館デジタル化資料の閲覧は、7 人となった。

所蔵機関	資料形態	人数（のべ）
国立国会図書館	デジタル化資料	7

（単位：人）

※制度上、閲覧は時間制限のみで、どの資料を閲覧したかは問わないため、閲覧人数のみの報告とする。

（2）当館及び他機関所蔵資料

当館及び他機関所蔵の貴重資料（デジタル化資料を含む）の閲覧については、Ⅴ学芸部 3）古文書（2）利用状況 の項目（p. 39）に掲載。

3）資料複写

	H30	R1	R2	R3	**R4**
資料複写	4,454	5,212	4,556	3,927	**3,858**
デジタル化資料印刷※	479	2,520	421	70	**116**

（単位：枚）

※デジタル化資料印刷には、国立国会図書館デジタル化資料及び当館所蔵のデジタル化資料の印刷が含まれる。

4）成果と課題

令和 4 年度もコロナ禍の中にあり、前年度と同じく滞在時間の制限や閲覧席を減らしたことなどから、調べものを目的とした来館が減少した。例年、夏休みなどは自由研究の資料を借りに来ると同時にレファレンスも多数あったが、コロナ禍になってからのこの数年、レファレンスは少ない。そんな中でも、感染状況が落ち着いてきた頃から遠方から調べもので来館される方などは増えてきたと感じられた。

なお、令和 4 年度は、国立国会図書館レファレンス協同データベースへの登録はできなかった。

複写に関しても、デジタル化資料印刷は微増しているが、全体でみると年々少しずつであるが減少している。

令和 5 年度はコロナによる制限が緩和されるので、コロナによる来館者の減少が緩和され、以前のようにレファレンス、複写ともに活用していただける図書館を目指していく。

2 外部との連携･協力･アウトリーチ

1）選書依頼受付･貸出実績

（1）実施実績

①市内幼･保、小･中学校

		依頼回数	貸出冊数
幼･保		0	0
小学校	鹿島	19	486
	明倫	35	760
	北鹿島	4	110
	能古見	0	0
	古枝	1	25
	浜	3	80
	七浦	2	17
中学校	西部中	1	96
	東部中	0	0
計	合計	65	1,574

（単位：回）　（単位：点）

②市内高齢者施設

	依頼回数	貸出冊数
市内高齢者施設	0	0

（単位：回）　（単位：点）

>>> 選書依頼による貸出数の推移

	H30	R1	R2	R3	**R4**
幼稚園･保育園	7	6	13	4	**0**
小学校	2,171	1,776	2,117	2,522	**1,478**
中学校	25	0	148	60	**96**
高齢者施設	116	343	776	615	**0**
計	2,319	2,125	3,054	3,201	**1,574**

（単位：点）

（2）成果と課題

令和 4 年度も、幼稚園･保育園、小･中学校及び高齢者施設から選書依頼等を随時受け付け、受取日までに準備する形での支援を行った。

幼稚園･保育園、からの選書依頼については、新型コロナウイルスやインフルエンザといった感染症流行の影響から依頼がなかった。また、高齢者施設においては、「高齢者事業所貸出セット」（p. 28）の利用が拡大したことから、選書依頼という形での貸出は 0 件となった。

市内小･中学校の選書依頼について、令和 3 年度にはコロナ禍以前の数字に戻りつつあったが、令和 4 年度は減少した。市内の各小･中学校に 1 人 1 台ずつ配備されたタブレットが活発に利用され始めたことで、本を用いた調べ学習からインターネット検索へ授業の形が変化してきていると推測される。

選書依頼による貸出の総数は、前年比 49.2%と減少した。しかし、蔵書内容の見直しや買い替えを進め、今後も依頼元の職員の皆さんの負担軽減につながるよう、必要とされる資料を必要冊数、迅速に準備して団体支援サービスを継続していく。

2）みにみに図書館（巡回図書）

（1）実施実績

①市内小学校（変更）

市内小学校からの要望により、これまでの市内小学校への「みにみに図書館」（1～3 年生用）150 冊に加え、令和 4 年度から 4 年生用の巡回図書を 50 冊増やし、200 冊となった。

②保健センター（再開 6 月～）

新型コロナウイルスの影響で令和 3 年 6 月から休止していた保健センター向け「みにみに図書館」について、令和 4 年 6 月から 1 年ぶりに再開した。

設　置　場　所：保健センター内いきいきルーム
巡回頻度／冊数：1 回／200 冊

〉〉〉「みにみに図書館」巡回概要

	施設名	冊数		施設名	冊数
小学校	鹿島小	200	企業	東亜工機	150
	北鹿島小	200		東亜工機 大村方工場	50
	能古見小	200		祐徳薬品	50
	明倫小	200	公民館	古枝公民館	50
	浜小	200		七浦公民館	50
	七浦小	200		浜公民館	50
	古枝小	200		能古見公民館	50
	音成分校	30		北鹿島公民館	50
中学校	西部中	100	その他	保健センター	200
	西部中（朝読用）	150		ワクチン接種会場	-
	東部中	100		すこやか教室	22
	東部中(朝読用)	135		子育て支援センター	130
適応教室	適応教室さくら	20		市民交流プラザ かたらい	130
保育園	七浦保育園	50		干潟交流館 なな海	37
	飯田保育園	50	計		
	音成保育園	50	※R4年度		
	みどり園	50			
	若草保育園	50			
	海童保育園	50		34 か所	3,354 冊／月
	能古見保育園	50			
	めぐみ園	50			

※冊数は１回あたりの配送冊数とする。

（２）成果と課題

普段、来館できない市民にも広く図書館資料を利用してもらえるよう、図書館では、毎月「みにみに図書館」として、市内各施設への図書資料の配送貸出を実施している。新型コロナウイルスの影響で令和 3 年 6 月から休止していた保健センター向けの「みにみに図書館」が、令和 4 年 6 月から 1 年ぶりに再開し、令和 4 年度末の巡回箇所は前年度末の 33 箇所から 34 箇所となった。巡回先へのアンケート結果では、令和 4 年度もほとんどが現状の選書に満足しているという回答をいただいた。

事業所･公民館･保育園については、選書内容や本の並べ方について要望があり、翌月から対応した。また、11 月から、東亜工機で、“予約本配達サービス”の試行 (p. 44) を開始した。毎回巡回時に「この本が読みたい」という要望があり、巡回本とは別に何らかの対応ができればと、試行に至った。予約数は多くないが令和 5 年度も引き続きサービスを継続させ、少しずつ定着できればと思う。

学校からは、学年に応じた本が様々なジャンルから選書されており、児童･生徒に好評との回答をいただいた。しかし、コロナ禍で学校図書室にも利用制限があり、あまり活用できなかった学校もあった。そのような場合にも、もっと柔軟に活用してもらえるよう活用方法を提案していく。令和 4 年度は、以前から要望のあった 4 年生向け 50 冊の巡回をひと月ごとに順次スタートし、11 月の巡回で市内小学校すべてに 200 冊の本を届けることができた。

3）アウトリーチ貸出

（1）貸出実績

	貸出人数	貸出冊数
わ･わ･わぽっと	15	44
絵本読み語り隊貸出セット※1	「絵本読み語り隊」未実施	
その他イベント（個人）	17	29
その他イベント（団体）※2	3	90
計	35	163
	(単位：人･団体)	(単位：点)

※１：名称変更：高齢者施設セット（～R3）
→絵本読み語り隊貸出セット（R4～）
※２：団体貸出は、今回すべて学級文庫として貸出

≫ アウトリーチ貸出概要

内容	日時	場所	備考
「わ･わ･わぽっとでおはなし会」 会場での貸出	第２水曜・最終日曜 11 時～	子育て支援 センター	令和 4 年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う休止はなし。
「絵本読み語り隊」訪問施設での 「絵本読み語り隊貸出セット」の貸出	高齢者施設への 出張おはなし会実施時	各高齢者施設	新型コロナウイルス感染拡大の影響で令和２年度から引き続き、令和４年度もすべて休止。
その他イベント	イベント開催時	各イベント会場	図書館主催の企画及び連携事業会場など図書館外での貸出。

（2）成果と課題

アウトリーチ貸出は、館外施設での貸出･返却システムの充実（分館に代わるサービスの提供･充実）を目指したサービスで、指定管理５年間の目標にも挙げているサービスである。

令和４年度も高齢者施設への「絵本読み語り隊」の訪問はかなわず、絵本読み語り隊貸出セットの貸出にもつながらなかった。しかし、令和３年度から代替サービスとして行っている「高齢者事業所貸出セット」(p. 28)については、令和４年度も利用が拡大し、違う形でサービスを維持することできた。

「わ・わ・わぽっとでおはなし会」は、休止期間もなく開催回数もコロナ前に戻ったが、会場での貸出に関しては、前年度を下回る結果となった。さらなる選書の工夫と子育て支援センター設置の返却ボックス活用のＰＲを行い、貸出増につなげたい。その他イベントについては、令和３年度中止になっていたイベントも再開されたため、令和４年度の貸出は大幅に増加した。

今後も、図書館外においても様々なサービスを通して本と人をつなげられるよう、選書や紹介方法を工夫していく。

3　予約

1）実施実績

（1）予約件数

	H30	R1	R2	R3	**R4**
ＷＥＢ	3,021	3,615	4,195	4,375	**3,512**
館内OPAC	398	296	162	144	**187**
窓口	3,109	3,154	2,998	2,925	**3,029**
電話	37	49	61	113	**85**
合計	6,565	7,114	7,416	7,557	**6,813**
うち書架有予約	1,132	1,316	1,549	1,642	**1,403**

※すべての利用資格（個人･団体･みにみに･相互貸借）の予約件数　（単位：点）

（2）パスワード･メールアドレス登録状況

	H30	R1	R2	R3	**R4**
パスワード	1,000	1,046	1,110	1,142	**1,296**
メールアドレス	903	953	995	1,023	**1,131**

（単位：件）

2）成果と課題

予約については、OPAC からの予約が 43 件、窓口からの予約が 104 件増えたが、WEB からの予約が大幅に減り、全体として 744 件減少した。来館して予約する利用者が増えた一方、WEB からの予約を入れる利用者が減った。システム更新に伴うホームページのリニューアルで 9 月 16 日～9 月 30 日の間ホームページが閲覧できなかったこと、WEB からの予約方法が変わったこと、また、その周知不足が原因と考えられる。今後は、WEB からの予約方法の周知が特に必要である。

パスワードの登録件数は 1,296 件、メールアドレスの登録件数は 1,131 件とどちらも増加した。パスワードを登録することで、図書館カードのバーコードがスマートフォンで表示できるようになり、窓口や掲示等で積極的に周知した成果と考えられる。

今後も、利用者の利便性向上のため、安定したサービスの継続とサービスの周知に努めていく。

4　相互貸借

1）実施実績

（1）他館からの借受

借受元	H30	R1	R2	R3	**R4**
佐賀県立	195	175	237	166	**175**
佐賀市立	38	30	35	46	**39**
唐津	19	18	29	30	**49**
鳥栖	20	68	45	54	**52**
伊万里	18	19	26	21	**17**
武雄	23	24	5	51	**30**
小城	20	20	20	26	**22**
嬉野	18	36	23	12	**13**
その他県内	80	70	79	51	**59**
県外	27	44	68	65	**48**
計	458	504	567	522	**504**

（単位：点）

（2）他館への貸出

	H30	R1	R2	R3	**R4**
佐賀県立	27	13	16	20	**9**
佐賀市立	40	54	49	52	**50**
唐津	50	95	56	63	**59**
鳥栖	89	122	67	91	**65**
伊万里	17	17	28	15	**24**
武雄	26	42	27	37	**75**
小城	9	8	16	29	**8**
嬉野	23	31	81	45	**38**
その他県内	284	218	255	210	**240**
県外	32	12	15	12	**13**
計	597	612	610	574	**581**

（単位：点）

2）成果と課題

相互貸借については、令和 4 年度も、例年並みのサービスを維持することができた。相互貸借サービスの認知度も年々増してきている。

他館からの借受に関しては、県内図書館から 456 冊、県外図書館から 48 冊と前年比 18 冊の減となった。県内からの借受数は前年度とほぼ変わらず、主に県外からの借受数が減少した。月平均で 42 冊の借受依頼を行っている。必要な資料を利用者のもとへ届けられるよう、今後も県内外の図書館と協力していく。

他館への貸出に関しては、県内図書館に 568 冊、県外図書館に 13 冊を貸し出した。全体として前年度の 574 冊から 581 冊に僅かに増加した。

Ⅳ 企画事業等実績

1 児童

1）企画事業

（1）企画事業等実施実績

①実施実績表

※No. 欄のマークについて
㋐…アウトリーチ
㊞…他機関との連携（当館からの依頼）
㋙…新型コロナの影響で開催時期や内容の変更を行った事業

No.	実施日	事業名	内　容	実　績
1	4/23（土） ～5/8（日）	こどもの読書週間イベント ぬり絵で楽しもう絵本の世界 【ぬり絵配布】	【内　容】「ぐりとぐら」や「ノラネコぐんだん」など絵本のキャラクターのぬり絵（６種類）を配布し、自宅で楽しんでもらう。希望者には、完成したぬり絵を提出してもらい、後日図書館内に展示。 【対　象】子ども（大人も可） 【場　所】図書館内	配布 387 枚
	4/23（土） ～5/15（日）	こどもの読書週間イベント ぬり絵で楽しもう絵本の世界 【ぬり絵募集】	【内　容】図書館で配布したぬり絵に色をぬり、完成させた作品を図書館へ持ってきてもらう。１人１作品応募可能。応募者には、豆本作りのキットをプレゼント。	応募&掲示 62 作品
	5/27（金） ～6/19（日）	こどもの読書週間イベント ぬり絵で楽しもう絵本の世界 【ぬり絵掲示】	【内　容】応募のあったぬり絵作品の展示。 【場　所】図書館内	
2	4/29（金） ～5/8（日）	こどもの読書週間イベント しおりをつくろう！	【内　容】会場に準備した２種類の材料をもとに、しおりを作れるイベント。田澤義鋪マンガの出版にあわせ、田澤の大切にしていた言葉を子どもたちにも広く知ってもらうためシールも準備。 【対　象】全般 【場　所】図書館内	142 人
3	7/3（日）	第 14 回 天の川お星さまおはなし会	【内　容】毎年恒例の夏のおはなし会。新型コロナウイルスの影響により中止となった令和元年度、動画配信とした令和２年度から３年ぶりの対面での開催。人数制限などの感染防止策をとり絵本の読み語り、パネルシアター、マジックなどを実施。 【対　象】赤ちゃんから小学生とその保護者 【場　所】エイブル１階いきいきルーム 【出　演】読み語りボランティア 15 人／子ども図書館サポーター7 人／図書館スタッフ３人 【参加者内訳】子ども 16 人／大人 10 人	26 人
4 ㊞	7/16（土） ～8/28（日）	夏休み展示 読書感想文を書こう！	【内　容】課題図書･市内７小学校の校長先生や市内中学生のおすすめ本･スタッフのおすすめ本･書き方の本等の展示に加え、過去の読書感想文教室で配布した資料の展示及び配布。 【連　携】市内の小学校校長及び市内の中学生 【対　象】小学生 【場　所】図書館内 【配布内訳】１、２年生 40 枚／３～６年生 65 枚	配布 105 枚
5	8/21（日）	夏休み教室 ふしぎ現象を楽しもう★ 身近なものからモノ作り	【内　容】前半は、講師によるふしぎ現象を取り入れた科学マジックショー、後半はペットボトルキャップを使ったコマづくりを実施。 【講　師】霜村 満氏（元小学校教員・鹿島夢マジック世話人） 【対　象】小学生 【場　所】エイブル３階 研修室	13 人
6 ㋐	11/15（火）	おはなしとどけ隊① ＠北鹿島小学校	【内　容】なかなか来館できない遠隔地の子どもたちに、本の楽しさや面白さを届けるため、小学校へ出向き、大型紙芝居やパネルシアター等を使ったおはなし会を実施。 【場　所】北鹿島小学校 【参加者内訳】1～6 年生 47 人／教諭３人	50 人
7	12/4（日）	としょかんのクリスマス会 「人形劇団いちごじゃむ がやってくる！」	【内　容】人形劇団「いちごじゃむ」による人形劇（2 演目）。劇と劇の合間に図書館サポーターによる手遊び、劇終了後にはサンタも登場。 【対　象】幼児～小学校低学年までの子どもとその保護者 【場　所】エイブル１階いきいきルーム 【参加者内訳】子ども 12 人／大人９人	21 人

No.	実施日	事業名	内　容	実　績
8 ㋐	12/6（火）	おはなしとどけ隊② ＠古枝小	【内　容】なかなか来館できない遠隔地の子どもたちに、本の楽しさや面白さを届けるため、小学校へ出向き、大型紙芝居やパネルシアター等を使ったおはなし会を実施。 【場　所】古枝小学校 【参加者内訳】1～6 年生 82 人／教諭 8 人	90 人
9	2/4（土）	冬の特大おはなし会	【内　容】ボランティアや図書館スタッフによるパネルシアターや大型絵本の読み語りと工作。マジックやバルーンアートの実演も。 【出　演】えくぼの会（北鹿島小）１人 読み語りボランティア１人 子ども図書館サポーター10 人 エイブル事務局スタッフ１人 【対　象】幼児から一般 【場　所】エイブル１階いきいきルーム 【参加者内訳】子ども 14 人／大人 7 人	21 人
10	2/26（日）	漫画家あまねあいさん ワークショップ ＃マンガ大好き	【内　容】前半は、講師と参加者のアットホームなおしゃべりや参加者が描いたイラストへの講師コメントの時間、後半は、テーマを決めて参加者と講師で一緒に絵を描く。 ※参加者には先生から手作りしおりのプレゼントも 【講　師】あまねあいさん（少女漫画家／唐津市在住） 【対　象】小学生から一般 【場　所】エイブル３階研修室 【参加者内訳】参加者 22 人／付き添い４人	26 人

◆こどもの読書週間イベント「しおりをつくろう！」　実施実績表 No. 2

4 月 23 日～5 月 12 日のこどもの読書週間の企画として開催した。本の友だちであるしおりを自分で作ることで、子どもたちに本や読書、図書館に親しんでもらうためこの企画を考案した。

今回は、田澤義鋪の本が出版された記念として、しおりに田澤義鋪の大切にしていた言葉である「一事貫行」「平凡道を非凡に歩め」が貼れるよう、シールを作りＰＲにも努めた。

期間中は天気も良く、各地でイベントが開催されていたにもかかわらず、142 人の参加があった。館内で開催したことで、他の参加者の姿を見て自分もやってみたいと思う方も多かった。全体を通して喜んでもらうことができた。制作手順が多く、スタッフの手を取ってしまったが、できるだけこちらで準備をしたことで、参加した子どもたちは、簡単に短い時間で完成させることができ、満足した様子だった。

こどもの読書週間ではあるが、子どもだけに限らず、大人も参加可能にして幅広い年代の人たちに図書館での時間を楽しんでもらうことができた。今後も、図書館に行ったらちょっと楽しかったという経験を積み重ねて、また行きたいと思ってもらえるような企画を開催したい。

◆「第 14 回天の川お星さまおはなし会」　実施実績表 No. 3

時間短縮と人数制限など新型コロナ感染防止策をとって 3 年ぶりに対面形式での「天の川お星さまおはなし会」を開催した。参加申込開始 4 日目で定員に達し、おはなし会を待ち望んでくれていた子どもたちは、間近で見る読み語りやマジックに目を輝かせて楽しんでくれた。通常のおはなし会では、読み語りボランティアの活動を休止していたため、久しぶりに子どもたちの表情を感じることができたことは、ボランティアにとっても大きな喜びと励みとなったようだ。また、読み語りのスキルアップとボランティア間のコミュニケーションを深める貴重な機会となった。

◆「ふしぎ現象を楽しもう★身近なものからモノ作り」　実施実績表 No. 5

毎年恒例の理科教室は、新型コロナ感染症対策として、この 2 年間は対面実施でなく動画配信と工作キット配布という形で行ってきたが、今年は、時間短縮･参加人数制限等の感染対策をとりながら、対面で開催を試みた。

動画配信と工作キット配布時は、子どもたちの反応を直接見ることができず残念に感じたので、今回 3 年ぶりに対面で行うことができ、非常に嬉しく、感慨深かった。子どもたちはマジックの不思議現象に驚いたり、コマ回し大会で必死になったり、本当に楽しそうだった。感染を広げない工夫をしながら子どもたちにたくさんの経験をさせてあげたい。

◆「漫画家あまねあいさんワークショップ＃マンガ大好き」　実施実績表 No. 10

若者の図書館利用が減少していることもあり、若者が好きな漫画本の作家さんにワークショップを行っていただくことで本や図書館の魅力をもっと感じてもらうことを目的に開催した。結果、ターゲットとしていた年齢層の参加が多く、終了後のアンケートでは、講師が地元佐賀県で活躍しているという部分に大きな感動を抱いた方が多数おり、満足度が高い感想がほとんどだった。今回の講師は人前で話をするのが初めてで、上手く話を引き出せるか不安もあったが、参加者一人一人と笑顔で語られていた。

県内在住の方に限定すると経験のある講師がなかなかおらず、講師選定が難しいが、初めての方でも、準備と打ち合わせを十分にしておけば大丈夫と感じた。

②成果と課題

主に 0～12 歳の利用者を対象としたものを児童企画として実施した。令和 4 年度は、新型コロナの感染拡大によって中止することもなく、感染対策をとりながら対面でのイベントをメインに行うことができた。中止や動画配信等の形態を経て、2 年ぶりに対面で行う際は、緊張したものの、利用者の笑顔を間近で見ることができ、感動はひとしおだった。また、「こども読書週間」には、田澤義鋪マンガの出版にあわせた企画を行い、鹿島ならではの特色を出すことができた。漫画家あまねあいさんのワークショップでは、図書館利用の減少が激しい若者世代の参加があって良かった。

この 3 年間、イベント中止や利用制限等で多くの子どもたちが図書館から離れてしまった。令和 5 年度からは、また一からという気持ちで、図書館と子どもたちをつなげていくための努力を精一杯行っていく。

（2）子ども図書館サポーター

①活動実績

No	実施日	内容	参加者数
1	5/8（日）	【内　容】エイブル祭りオープニングセレモニーでの図書館ＰＲ及びゴーヤの苗植え作業。 【場　所】エイブルホール、図書館 【参加者内訳】4 年生 5 人／5 年生 4 人	9 人
2	6/19（日）	【内　容】天の川お星さまおはなし会用のプレゼントづくり及び練習、１回目の活動で行わなかった任命式も。 【場　所】図書館 【参加者内訳】4 年生 5 人／5 年生 2 人	7 人
3	7/3（日）	【内　容】天の川お星さまおはなし会 出演及び手伝い。 （進行・大型絵本「うみキリン」読み・マジック手伝いなど） 【場　所】エイブル 1 階いきいきルーム 【参加者内訳】4 年生 4 人／5 年生 3 人	7 人
4	10/10 （月・祝）	【内　容】カウンター業務、ケーブルテレビで紹介するおすすめ本選びなど。 【場　所】図書館 【参加者内訳】4 年生 5 人／5 年生 4 人	9 人
5	11/23 （水・祝）	【内　容】ケーブルテレビ「おすすめ本紹介」の撮影及び「としょかんのクリスマス会」用プレゼント作り。 【場　所】図書館･エイブル 2 階サロン（撮影） 【参加者内訳】4 年生 5 人／5 年生 4 人	9 人
6	12/4（日）	【内　容】「としょかんのクリスマス会」手伝い。会場案内や手遊び、プレゼント配布など。 【場　所】エイブル 1 階いきいきルーム 【参加者内訳】4 年生 5 人／5 年生 2 人	7 人
7	1/22（日）	【内　容】冬の特大おはなし会準備（プレゼントづくりと大型絵本の読みの練習） 【場　所】図書館 【参加者内訳】4 年生 3 人／5 年生 3 人	6 人
8	2/4（土）	【内　容】冬の特大おはなし会手伝い。おはなし会の受付案内や進行、大型絵本の読み語り、工作補助、プレゼント配布など。 【場　所】エイブル 1 階いきいきルーム 【参加者内訳】4 年生 5 人／5 年生 5 人	10 人
9	3/12（日）	【内　容】修了式及び本探し体験、配架など。 【場　所】図書館 【参加者内訳】4 年生 6 人／5 年生 4 人	10 人

②成果と課題

令和 4 年度は、4 年生の応募が 11 名だったため、抽選を行い 6 名選定した。

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染拡大による時間短縮やイベントの中止があったが、令和 4 年度は時間の短縮もイベントの中止もなく、例年どおり実施することができた。イベントなど表に出ることを嫌がる子どももいたが、欠席もせず参加してくれた。参加した子どもたちからは「おはなし会で小さい子たちと触れ合い、お話を聞いて笑顔になっていることを見るとうれしくなった」「自分たちでやったことでこんなに笑顔になってくれるんだなと、自分に自信を持つことができた」などの感想があった。年間を通して、図書館のイベントや仕事を子どもたちと一緒にできるため、子どもたちの言葉を聞くいい機会ともなっている。

毎年恒例になりつつある「ケーブル de みんと」の子ども図書館サポーターおすすめ本紹介は保護者に、また、図書館の端末で検索して図書館の本を探す「本をさがそう」は子どもたちに好評であるため、やり方を精査しつつ続けていく。

（3）ブックスタート類似事業「ぶっくすくすく」

①「ぶっくすくすく※」実施実績　※毎月第４水曜日（4か月健診時）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数（組）	23	19	22	13	9	11	14	14	17	14	17	12	185

※「ぶっくすくすく」：赤ちゃんと保護者の方が絵本を介してゆっくりと心触れ合うひとときを持てるよう、お手伝いをするのを目的として、4か月健診の待ち時間を利用して行っている市福祉事務所･市保健健康課･図書館の連携事業。

②成果と課題

平成 20 年度から市の事業として行っている「ぶっくすくすく」では、14 年目となる令和 4 年度、185 組の赤ちゃんと保護者の方に、事業の主旨説明や絵本の読み聞かせ、図書館の案内等を行った。

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染防止策として、対面での説明は行わず、ぶっくすくすくセットの配布のみ実施した時期もあったが、令和 4 年度は、マスクを着用し対面で行うことができた。

令和 3 年度末、ぶっくすくすくセットの 1 つである「赤ちゃん絵本リスト」のリスト掲載本を新しい本に入れ替えるなどの改訂作業を行い、令和 4 年度から新しい「赤ちゃん絵本リスト」を配布した。また、ぶっくすくすくセットのケースに鹿島市民図書館のロゴシールを添付した。

（4）おはなし会

①おはなし会実施実績

◇あ　ん　こ　ろ　も　ち …　毎週火曜　：14 時～　図書館おはなしのへや　0～3 歳
◇土 曜 日 の お は な し 会 …　毎週土曜　：14 時～　図書館おはなしのへや　3 歳～
◇わ・わ・わ・ぽっとでおはなし会 …　第 2 水曜･最終日曜　：11 時～　子育て支援センター内　乳幼児

おはなし会		H30	R 1	R2	R3	**R4**
あんころもち（H20.5～）	赤ちゃん	156	225	-	10	**53**
	保護者	137	215	-	11	**43**
	開催回数	41	36	-	14	**46**
土曜日のおはなし会（H13～）	子ども	436	311	8	97	**112**
	保護者	258	209	9	82	**86**
	開催回数	50	45	10	41	**49**
わ･わ･わぽっとでおはなし会（H30.5～）	赤ちゃん	227	358	75	163	**179**
	保護者	175	275	58	136	**152**
	開催回数	19	19	7	17	**22**

（単位：人／回）

※実施実績について：令和 2 年度及び令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、おはなし会休止の期間があり、例年より少なくなっている。
※開催回数について：休止の日以外は参加が 0 人でも開催回数は 1 カウントとしている。

＜新型コロナウイルス感染防止策＞　※感染拡大の状況により一部緩和した部分もあり

・あ　ん　こ　ろ　も　ち　感染予防対策：予約制（6 人まで）
参加者とのあいだに透明のパーテーションを設置
ジョイントマットによる参加者同士の間隔確保
マスク着用･参加者の検温･手指消毒　など

・土 曜 日 の お は な し 会　感染予防対策：「あんころもち」 に同じ

・わ･わ･わぽっとでおはなし会　感染予防対策：子育て支援センターの入場制限に準ずる
スツールによる参加者同士の間隔確保
マスク着用･参加者の検温･手指消毒　など

②成果と課題

図書館内で行う 2 つのおはなし会については、令和 3 年 11 月から十分な感染防止策をとりながら再開し令和 4 年度も継続した。また、子育て支援センターに出張して行う「わ･わ･わ･ぽっとでおはなし会」についても、前年度に引き続き継続している。実施回数はコロナ前に戻ったが、参加者数はなかなか伸びず苦戦している。しかし、その中でも、継続的に参加してくれる親子が少しずつだが増えてきた。丁寧に対応し、親子での温かい絵本の時間を作り上げていきたい。

令和 5 年 3 月 30 日からおはなし会の人数制限を緩和し予約･受付なしでの参加を可能とした。この際、検温は継続し、密になるような場合は、おはなしのへやの外に椅子を置いて参加してもらうこととした。

２）広報

（１）実施実績

◆えほんとともだち

対象：幼稚園･保育園の保育士及び子育て関連施設の職員
内容：新着及び季節に合った絵本･紙芝居の紹介
配布／掲示：幼稚園･保育園及び子育て関連施設への配布、図書館入口への掲示
発行：季刊（年４回）

◆かしましみんとしょかんのあたらしい本

対象：市内の小学生、学校司書補及び教職員
内容：低学年･中学年･高学年ごとのおすすめ新着本の紹介
配布／掲示：小学校への配布、館内掲示
発行：季刊（年４回）

（２）成果と課題

広報として、幼児向けの「えほんとともだち」、児童向けの「かしましみんとしょかんのあたらしい本」を作成･配布している。

「えほんとともだち」では、新着絵本と季節に合った絵本を紹介しているが、保育士の方からは、紹介した絵本や紙芝居に関する問い合わせや貸出依頼はなく、どの程度活用されているのかが見えにくい。

「かしましみんとしょかんのあたらしい本」では、絵本や読み物だけでなく様々なジャンルの新着本を低学年･中学年･高学年ごとに紹介している。学校司書補の方からは、学校図書館での選書の参考にも活用しているとの声をいただいている。また、令和４年度からは、紙面にイベント情報などを紹介するコーナーを作った。

令和 5 年度も広報紙を発行することで、子どもたちに図書館や読書への関心を持ってもらうとともに、幼稚園･保育園、小学校からの団体貸出にもつなげていく。

３）展示

（１）実施実績：p. 45、p. 46 資料）館内特集一覧　参照

（２）成果と課題

児童向け展示は、赤ちゃん向けから小学生向けまで館内約 9 箇所で実施しており、季節や行事、その時々にタイムリーな話題の本を集めて展示している。赤ちゃん及び幼児向け展示は、子どもたちだけでなく保護者をはじめ、保育士や放課後児童クラブ指導員など子どもたちと関わる大人の方も興味を示され、貸出にもつながっている。

絵本については、様々な絵本の魅力に気付いていただきたく、新しいものや話題のものだけでなく、長く読み継がれているものの展示も試みた。

コロナ禍で利用中止にしていた児童視聴覚ブースでは、臨時的に机を置いてテーマ展示を行い、同じく利用を中止していたおはなしのへやでは、おすすめ絵本の POP を掲示するなどして、子どもと本をつなげる工夫を行った。

２ ティーンズ

１）広報

（１）実施実績

◆イエローラベル通信

対象：ティーンズ
内容：ティーンズ向け新着資料の紹介及びイベントのお知らせ
配布／掲示：市内中学校･高等学校の図書室への配布、図書館内（複数個所）への設置、図書館入口への掲示、図書館ホームページへのアップロード。
発行：季刊（年４回）

（２）成果と課題

「イエローラベル通信」は、ティーンズに向けた新着本の紹介やイベントのお知らせなどの情報発信を目的として作成している。また、「イエローラベル通信」は紙媒体だけでなく、図書館ホームページなどの WEB 媒体も活用している。

ティーンズ世代の来館者が伸び悩むなか、より多くのティーンズ世代に読んでもらえるように、ティーンズの興味のある話題や情報をリサーチして、紙面づくりや SNS での発信など工夫していく必要がある。それにより図書館に関心を持ってもらい、来館や貸出にもつなげたい。

２）展示

（１）実施実績

①館内特集コーナー：p.45、p.46 資料）館内特集一覧　参照

ティーンズが関心を持ちそうなテーマの本や季節や行事の関連本を集めて展示をした。また、職場体験に来られた教員や生徒にもおすすめ本を紹介してもらい、それらを特集して展示した。ティーンズだけでなく大人の方も特集コーナーの本を手に取られていた。

ティーンズ世代に興味を持ってもらえる特集を考えるのは難しい。常にティーンズのニーズを把握し、来館と貸出増加につながるような特集コーナー作りを心掛けていきたい。

②みんなのイラストコーナー

このコーナーでは、利用者のみなさんからイラストやメッセージを投稿してもらい、それに職員がコメントをつけて掲示している。令和４年度から掲示パネルを明るい黄色に変更するとともに投稿作品に台紙をつけて、より作品が映えるように工夫した。お気に入りのキャラクターのイラストをはじめ、鹿島市民図書館や職員を応援するメッセージも多く寄せられており、励みになっている。

このイラストコーナーは、利用者の作品発表の場としてだけでなく、図書館と投稿者の交流の場にもなっている。新型コロナウィルス感染状況が落ち着きを見せてきたことから、投稿数も増えてきており、今後も投稿者はもちろん他の利用者のみなさんにも楽しんでもらえるスペースにしていきたい。

（２）成果と課題

令和４年度、ティーンズ世代の図書館利用の実態把握のために、市内中学校２校と高校１校にアンケートを実施した。それによると図書館に求めることとして、ゆっくり勉強ができて本が読める場所や閲覧スペースの増加をはじめとする居心地の良さを求める回答が多かった。コロナ禍で閲覧席を減らしていたが、今後は座席を徐々に戻しながら、ティーンズに親しんでもらえる環境づくりに取り組んでいく。また、流行など常に情報収集を行い、ニーズに合った選書や特集コーナー展示、イラストコーナーを通しての交流、来館してもらうための PR に努めたい。

3 一般

1）企画事業

※No. 欄のマークについて
㋐…アウトリーチ
㊢…他機関との連携（当館からの依頼）
㋣…新型コロナの影響で開催時期や内容の変更を行った事業

（1）実施実績表

No.	実施日	事業名	内　容	実　績
1	5/7（土） ～5/15（日） ※5/22（日） まで延長	読書手帖配布	【内　容】毎年恒例の図書館オリジナル読書手帖の配布。令和４年度は田澤義鋪マンガの出版記念として、マンガのイラストを用いたオリジナルの読書手帖を制作し、来館者に配布。 【対　象】全般 【場　所】図書館内 【配布実績】144 冊	配布 144 冊
2	5/7（土） ～6/5（日）	マンガふるさとの偉人 「田澤義鋪」パネル展	【内　容】田澤義鋪マンガの出版記念として実施。マンガの完成原稿や校正ネームの一部を場面説明や制作過程についてのキャプションとともにパネルに展示。 【対　象】全般 【場　所】図書館内	－
3	6/18（土）	雑誌と本の無料配布 【整理券配布】 ※初日のみ要･整理券のため	【内　容】「雑誌と本の無料配布」初日（6/25）分の整理券配布。 【対　象】全般 【場　所】エイブル１階 エントランスロビー	－
	6/25（土） ～7/3（日）	雑誌と本の無料配布	【内　容】図書館で不要になった雑誌（令和２年度購入分）と本の無料配布。雑誌も本も初日から冊数制限なし。 ※初日は要･整理券、15 人ずつ（各 25 分）区切って実施 【対　象】全般 【場　所】エイブルホール：6/25（土）、6/26（日） 図書館内：6/28（火）～7/3（日） 【参加者内訳】参加人数 336 人／配布人数 275 人 【配布冊数】雑誌 1,699 冊／本 1,620 冊	参加 336 人 配布 275 人 雑誌 1,699 冊 本 1,620 冊
4	10/20（木） ～11/20（日）	秋の読書週間行事 としょかん川柳【募集】	【内　容】秋の読書週間にあわせ、大人やシニア層に人気で手軽な文芸“川柳”を募集。お題は「どうぶつ」。募集は、図書館内に設置の応募箱またはメールで。	応募 21 人 39 句
	11/29（火） ～12/11（日）	秋の読書週間行事 としょかん川柳【展示】	【内　容】応募のあった川柳を図書館内に掲示。 【場　所】図書館内	
5	11/1.火） 11/2（水） 11/8（火） 11/9（水） ～11/11（金）	市内学校･ 放課後児童クラブ等への 廃棄図書配布	【内　容】市内小･中学校及び放課後児童クラブ等への廃棄図書の無料配布。一般への配布「本をゆずる市」に先行して実施。 ※令和４年４月～10 月の除籍本 4,180 冊の中から 【対　象】市内小･中学校･公共施設･放課後児童クラブ 【その他】小･中学校配布：11/1、11/2、11/8 放課後児童クラブ配布：11/9～11/11	配布 7 団体 293 冊
6	11/19（土） ～11/27（日） ※12/4（日） まで延期	本をゆずる市	【内　容】図書館で不要になり除籍した図書のうち、市内小･中学校及び放課後児童クラブ等への配布分を除いた 3,887 冊の無料配布。 ※令和４年４月～10 月の除籍本 ※本の無料配布は６月に続き２回目の実施。 【対　象】全般 【場　所】エントランスロビー：11/19（土）、11/20（日） 図書館内：11/22（火）～12/4（日）	347 人 2,012 冊

7	1/4（火）～
	
	※1/6 終了
		としょかん福袋	【内　容】職員が選んだ本を 3 冊ずつ入れた福袋 120 袋の貸出を実施。福袋には絵本作家「ちえちひろ」さんや「山田全自動」さんのオリジナルイラストを使用したおまけ付き。
			>>> おまけ 大吉：マグネット 37
			>>> おまけ 中吉：キーホルダー28
			>>> おまけ 小吉：しおり 55
			【対　象】図書館カードを持っている方全て
			【場　所】図書館内
			【貸　出】120 袋　>>> 内訳 大 人 向 け 68 袋／大人向け（大活字）2 袋
			>>> 内訳 中高生向け 10 袋
			>>> 内訳 子ども向け（読み物･1 年生～3 年生向け）10 袋
			〃　（読み物･4 年生～6 年生向け）10 袋
			〃　（絵本）20 袋
				貸出
				120 人
				120 袋
				360 冊

No.	実施日	事業名	内　容	実　績
8	2/1（水） ～2/19（日）	雑誌ふろくプレゼント 応募開始	【内　容】図書館の本の中からおすすめの本を紹介してもらい、抽選で雑誌のふろくをプレゼント。おすすめ本は後日館内に展示。 【対　象】全般 【場　所】図書館内 【当選発表】3/4（土）※プレゼント受取りは 3/24（金）まで 【おすすめ本展示】3/4（土）～4/7（金）	募集者 125 人

◆読書手帖配布　実施実績表 No.1

令和 3 年度に完成した偉人マンガ『田澤義鋪』の出版を記念したデザインで作成した。大人の方が手に取りやすいシックな色調と、記入欄からイラストの透かしをとったことでより記入しやすくなったと好評だった。印刷費が値上がりしているため発行部数を増やすことは難しくなっているが、毎年楽しみにしている方も多く、できるかぎり続けていきたい。

◆秋の読書週間行事 としょかん川柳　実施実績表 No.4

令和 3 年度に好評だった「としょかん de 俳句」の後を引き継ぎ、大人向けの企画として開催した。幅広くいろいろな年代の方の参加があった。また、来館することが困難な方が 1 名メールで応募をされた。応募方法の選択肢があることで、外出が難しい方にも図書館とのつながりを感じてもらうことができた。

令和 4 年度も作品には賞をつけず、応募した川柳をしおりにして参加賞として配布した。受け取りに来られた方には、喜んでいただけた。俳句や短歌よりやや敷居が低く、展示期間中には中学生や若い利用者も楽しんで見ていかれる方が多かった。参加者の中から作品作りの参考にするために、作品リストを作って配って欲しいという要望があった。今後、対応するならば募集時に作品リストの配布をすることへの応募者の同意が必要である。配布をするとしても、範囲は参加者のみに限定したい。

今年は参加しなかった方も、展示を見て「次は自分も…」と思う方もいるかもしれないので、しばらくはテーマを変えながら川柳の応募を続けてもよいのではないかという意見がスタッフや図書館協議会からも出ていた。参加者や展示を見に来た方が気軽に和気あいあいと交流できる企画として今後も継続していきたい。

◆雑誌ふろくプレゼント　実施実績表 No.8

応募者は応募用紙に必要事項と自分のおすすめ本、おすすめポイントを記入して応募いただくという児童から一般の方までどなたでも参加できる形で行い、応募の数としては全部で 125 名の応募があった。前年度の応募者が 116 名から 9 名増加した。毎年楽しみにしている方も多く、企画前にカウンターで尋ねられることもあった。応募の際、記入してもらったおすすめポイントを直接おすすめの本の表紙に貼り、特集コーナーで約 1 ヵ月展示した。

（2）成果と課題

図書館では、全ての世代の利用者を対象としたもの、中高生より上の世代を対象にしたものなど、幅広い世代を対象にした企画を一般向け企画として捉えている。令和 4 年度は、前年度に助成事業で制作した偉人マンガ関連 2 件及び毎年恒例の企画 6 件の計 8 件の企画を実施した。

新型コロナウイルスの感染拡大当初は、やむを得ず企画の中止や延期をすることもあったが、それ以降は、できる限り利用者にサービスを届けられるよう内容変更や人数制限等を工夫しながら企画を実施してきた。令和 4 年度は、感染状況も比較的落ち着きを見せ始めたこともあり、これまで蓄積してきたノウハウを活かし、数年ぶりにほとんどの企画を対面で行うことができた。やはり、対面での実施は、参加者の反応が直に見られ、やりがいも感じられる。

今後も、新たな利用者層へのアプローチができる企画を取り入れつつ、恒例企画も内容を工夫しながら、よりよい図書館となることを目指した企画を実施し、利用促進を図っていく。

２）広報

（１）実施実績表

№	広　報	実施	対　象
1	図書館だより「みんと」発行 ※館内に設置のほか、市役所各課、市内公共施設及び教育機関、県内公共図書館等へ配布 ※平成 26 年 8 月から七浦地区、9 月から市内全地区回覧板への挟込開始 ※平成 29 年度からは、市民課、ララベル、県杵藤農林総務課への配布開始 ※平成３０年度からは、道の駅鹿島、鹿島市観光案内所、 　リバティ（嬉野市）、ふれあい郷（白石町）への配布開始 ※H31 年度からは干潟交流館なな海への配布・設置開始	毎月	全般
2	市役所へのメール配信　※みんと、新着資料案内、お知らせほか	毎月	市職員
3	市内企業への新着資料案内 配布	毎月	市内企業
4	ツイッターを使った情報発信	随時	全般
5	ホームページでの行事案内、新着資料案内	随時	全般
6	ケーブルテレビ版図書館だより「ケーブル de みんと」　※H27.12 月～	毎月	市民
7	そのほか行事等に合わせた関連資料パンフレットの配布	随時	全般
8	市役所 定例記者会見	毎月	市内マスコミ

◆ホームページ

令和 4 年度の図書館システム更新に伴い、ホームページのリニューアルを行った。それにより、デザインが以前より見やすくわかりやすくなっただけでなく、新たに図書館カードのバーコード表示機能（※パスワード登録とログインが必要）が加わり、カードを忘れても資料の貸出が可能になるなど、利用者の利便性向上につながった。

ホームページを最大限に活用してもらうためにはパスワード登録が必要だが、新機能である図書館カードのバーコード表示についての説明の際、改めて多くの利用者にパスワード登録のお願いができ、徐々に登録者が増加した。

今後も、ホームページの利用促進やパスワード登録の周知を図り、更に多くの方に閲覧･活用してもらえるよう力を入れて情報発信をしていきたい。

◆その他

企業･市職員向け新着資料案内は、事業所向けと市役所向けで紹介する本を変えている。また、本の紹介のみでなく、図書館の使い方やお知らせしたいことを毎回掲載し、図書館に足を運んだことのない方への PR にも努めた。ツイッターでは新刊案内やイベントの募集などを定期的に発信した。

「エイブルの木」が市報と合併し配布方法が変わることに伴い、「みんと」の各地区回覧は令和 5 年 4 月号をもって終了し、市民が直接目にする図書館の情報量が減少することになる。

（２）成果と課題

紙媒体は、イベントの告知や報告を中心に作成している。「みんと」では、館長コラム題材のほか、職員コラムでは人柄が垣間見え、親しみを感じてもらえている。WEB 媒体は、ホームページ及びツイッターを運営しており、イベント告知のほか、紙媒体では対応できない即時性のある情報提供なども行っている。そのほか、ケーブルテレビや、市役所や市内企業への新着資料案内、定例記者会見でのイベント告知などを行った。

令和 5 年度からは「みんと」の地区回覧が終了するので、市民に幅広い図書館の情報をいかに届けるか代案を検討していく。

３）展示

（１）実施実績

①館内特集コーナー：p.45、p.46 資料）館内特集一覧　参照

館内に随時 7～8 箇所設置している一般向けの特集コーナーでは、毎月、季節や話題になっている事柄に合わせた本を選書し展示している。

令和４年度は、前年度以上に連携展示に力を入れた。自殺予防、男女共同参画週間、同和問題啓発強調月間、人権週間、アルツハイマーなどのテーマでは市役所各担当課、全国地域安全運動のテーマでは鹿島警察署、プラスマ Life さがのテーマでは佐賀県循環型推進課、確定申告のテーマでは武雄税務署など、様々な機関と連携することができた。図書館単独では準備が大変なことでも、連携することで簡単にできることがある。また、図書館が社会的に役立つ施設ということを連携先に認識してもらうことができ、大切なテーマをより多くの人々に知ってもらうこともできる。

令和２年度から始めたホームページでの特集コーナーの紹介は継続し、コーナーの写真とともに、毎月新たなテーマと本を掲載した。

②ぷちギャラリー わたしの手仕事

市民の方による趣味の手作り作品の展示コーナーで、同時に関連本の展示も行っている。通常 1～2 か月を目安に入れ替えているが、コロナ禍で令和４年度も出展募集の声掛けが十分にできず、出展者数はほとんど伸びなかった。立ち止まって作品を楽しまれている来館者も多く、ものづくりが趣味の方やこれから始めたい方にも図書館資料を活用していただき、その成果の発表の場に図書館を利用してもらえるよう、今後も地道に広報を行い出展者増に努めていく。

＜令和４年度の展示＞

・フレームアート（造花のアレンジ）
・グラスうを彩る花（造花のアレンジ）
・夏の思い出（絵画･紙粘土細工･プラパン）
・秋の訪れ（絵画･紙粘土細工･プラパン）
・つまみ細工でお花のミニフレーム（つまみ細工）
・グラスアート（置物）

③書庫コレクション

定期的に閉架書庫の本を展示する書庫コレクションは、利用者にとって新たな発見になっており、年間を通して人気のコーナーとなっている。

（２）成果と課題

令和４年度も、館内特集コーナーでは、利用者のニーズに合うようなテーマを設定して本を集めることで利用を促すことと、図書館でしかできない本との出会いを作ること、他機関と連携することを意識しながらテーマ設定を行った。

特集のテーマは毎回担当３人で話し合い、利用者の読書意欲を引き出せるようなものになるよう心掛けながら設定し、選書を行った。また、文学賞受賞発表や作家や芸能人の訃報のニュースがあった際には、素早く関連本を集めて展示した。コロナ禍で利用者が減少したこともあり、目に見えて貸出の増加を感じることは少なかったが、本が借りられた特集コーナーを見て、テーマ設定や選書が貸出につながっていることを実感できた。

今後も、図書館に来館した方が、ただ眺めるだけでも新たな情報･発見･癒しを得て、好奇心をくすぐられ、思わず１冊手に取ってしまう、そのような展示を目指していきたい。

4　高齢者

1）高齢者サービス全般

高齢者にとって、図書館は読書を楽しむ場であると同時に、人とのコミュニケーションの場でもあり、日常生活の一部となっている。しかし、長引く新型コロナウイルスの感染拡大は、日常生活の行動範囲が制約され高齢者の図書館利用にも大きな影響を及ぼしている。

そのような状況の中、令和 4 年度も、比較的元気な高齢者には、趣味や健康維持などに活用してもらえるよう、図書館利用を促すとともに、高齢者施設の利用者及び職員への支援サービスについても取り組んだ。

2）企画事業

（1）実施実績表

※No. 欄のマークについて
㊞…他機関との連携（当館からの依頼）

①企画事業

No.	実施日	事業名	内　容	実　績
1 ㊞	2/2（木）	からだイキイキ シニアライフを楽しもう！	【内　容】これからのシニアライフを活動的に過ごすための講座。 前半は講師による楽しく体を動かすレクリエーション、 後半は、図書館見学＆本探し体験で脳力アップにつなげる。 【講　師】山口清美さん（鹿島市レクリエー ション協会会長） 【連　携】鹿島市社会福祉協議会 【対　象】65 歳以上 【場　所】エイブル 3 階研修室及び図書館	18 人

◆からだイキイキ シニアライフを楽しもう！　実施実績表 No. 1

令和 3 年度に実施した「あたまイキイキ シニアライフを楽しもう！」では、利用者の高齢者向けイベントへの関心の高さがうかがえただけでなく、アンケートも好評だったため、令和 4 年度は「からだイキイキ」をテーマにした企画を行った。

この企画では、長引くコロナ禍で外出を控えこもりがちな高齢者に、レクリエーションで体を動かす大切さと喜びを伝え、今後の健康維持への意欲向上につなげることができた。また、普段入ることのできない閉架書庫や本のポストのほか、書架の見学と本探し体験を通して、図書館をより身近に感じてもらうことができた。

今後も比較的元気な高齢者を対象にした参加型の企画を計画していきたい。

②高齢者事業所貸出セット

新型コロナウイルスの影響により絵本読み語り隊が実施できない中、自力で図書館に来館できない高齢者に本を届けたい、また、施設スタッフの選書時間の負担軽減に協力したいという思いから、令和 3 年 1 月から開始した「高齢者事業所貸出セット」の貸出は、令和 4 年度に新たに 3 施設が増え、6 施設に貸出サービスを拡大することができた。

＜概　要＞

・事　　業　　名：「高齢者事業所貸出セット」
・セ ッ ト 内 容：１セット 25 冊
・実 施 施 設：余暇センターきたじま 宅老所鹿城
　　グループホーム門前
　　宅老所なごみの家
・Ｒ　４　新　規：デイサービスゆうあい古枝
　　ほっとすまいるかしま
　　デイサービス夢の丘

＜実　績＞

	貸出回数	貸出冊数
宅老所 鹿城	11	605
グループホーム門前	10	550
なごみの家	5	275
ほっとすまいる・かしま	6	330
デイサービス夢の丘	10	550
デイサービスゆうあい古枝	7	385
合計	49	2,695

(単位：回)　(単位：点)

③絵本読み語り隊

図書館スタッフ及び読み語りボランティアによる市内高齢者施設への訪問おはなし会「絵本読み語り隊」は、平成 21 年度から継続して実施してきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度からは施設側の受け入れが難しく活動中止が続いている。施設側も外部との交流が途絶え再開を待ち望まれているが、令和 4 年度も実施を断念した。

（2）成果と課題

新型コロナウイルス感染拡大により、「絵本読み語り隊」の訪問は再開できておらず、高齢者向けの本を直接紹介できる場がない状況が未だ続いている。そこで令和2年度から、自力で来館できない施設利用者と本をつなぐとともに、施設職員の選書時間の負担を軽減するために高齢者事業所貸出セットの貸出を始め、好評をいただいている。更なるサービス向上のため、令和4年4月から新たに3施設への貸出を開始し、年間貸出回数は49回に伸びた。

今後、「絵本読み語り隊」の訪問が再開した場合は、高齢者事業所貸出セットを利用していない施設向けに貸出選書依頼の活用を進めていきたい。

3）広報

（1）実施実績

令和4年度も、「絵本読み語り隊」の中止により施設訪問ができず、図書館の情報を積極的に伝えることができなかった。

（2）成果と課題

定期的な高齢者向けの広報はできていない。「みんと」によるシニア全般に向けたおすすめ本の紹介についても、令和5年4月から「みんと」の市内回覧が中止になることから、年に1回ほど高齢者施設向けに本のリストなどを作成して案内していきたい。

4）展示

（1）実施実績：p. 45、p. 46 資料）館内特集一覧　参照

（2）成果と課題

「シニアコーナー」展示は図書館海援隊※プロジェクトの一つとして設置している。展示テーマによって貸出が多いものと少ないものがあるが、貸出だけでなく、展示による周知･啓発を目的としてテーマを設定することもあるため、資料内容が硬軟バランス良くなるよう心がけた。高齢者向けイベントに合わせて行った展示は、シニア世代の関心の高いテーマだったこともあり、コーナー前で立ち止まる人や展示した本を借りる人も多かった。

※図書館海援隊：平成22年9月から文部科学省「図書館海援隊プロジェクト」に参加。
館内に就労支援コーナー等をはじめとした地域の課題解決に資する
コーナーを設けている。

5 他機関との連携等

1）研修･図書館見学

（1）実施実績表

①研修

No	実施日	実習者	内　容	参加人数
1	8/19（金）、8/21（日）	鹿島高校教諭	企業体験研修	1 人
2	8/23（火）、8/25（木）	うれしの特別支援学校教諭	職場体験	1 人
3	8/23（火）～8/25（木）	有田工業高校２年生	インターンシップ	1 人
4	9/6（火）	東部中学校２年生	職場体験学習	台風のため中止
5	11/1（火）	西部中学校２年生	職場体験学習	4 人
	計			7 人

②視察・施設見学

※㊤…エイブル全体（図書館含む）　㊟…図書館のみ

No	実施日	団　体	内　容	参加人数
1	5/24（火）	明朗幼稚園	㊟貸出	園児 7 人／引率 2 人
2	5/27（金）	太良町立多良小学校 2 年生	㊤利用案内･見学／おはなし会	児童 30 人／引率 3 人
3	7/5（火）	うれしの特別支援学校 →台風接近のため生徒の来館は中止。代わりに教諭１名が館内案内の様子を動画撮影して学校で説明。	㊟利用案内･見学／貸出（予定）	教諭 1 人 （予定：生徒 7 人／引率 5 人）
4	8/10（水）	ほがらかクラブ B（明倫小）	㊟おはなし会／貸出	児童 33 人／引率 4 人
5	8/23（火）	ゆめっ子クラブ（七浦小）	㊟利用案内･見学／貸出／おはなし会	児童 24 人／引率 5 人
6	9/13（火）	鹿島小学校 2 年生 図書館見学　※生活科	㊟利用案内･見学／貸出／おはなし会	児童 25 人／引率 1 人
7	9/15（木）	鹿島小学校 2 年生 図書館見学　※生活科	㊟利用案内･見学／貸出／おはなし会	児童 26 人／引率 3 人
8	11/18（金）	七浦小学校 2 年生 図書館見学　※生活科	㊤利用案内･見学／貸出	児童 12 人／引率 2 人
9	12/6（火）	能古見小学校 2 年生 図書館見学　※生活科	㊟利用案内･見学／貸出	児童 23 人／引率 2 人
10	12/9（金）	みどり園	㊟利用案内･見学／貸出／おはなし会	園児 19 人／引率 2 人
11	12/13（火）	明倫小学校 2 年生 図書館見学　※生活科	㊤利用案内･見学	児童 73 人／引率 4 人
12	12/16（金）	浜小学校 2 年生 図書館見学　※生活科	㊤利用案内･見学／おはなし会	児童 17 人／引率 2 人
13	1/31（金）	北鹿島小学校 2 年生 図書館見学　※生活科	㊟利用案内･見学／おはなし会	児童 36 人／引率 2 人
14	2/10（金）	鳥栖市立図書館職員 視察研修	㊟図書館システム関連	3 人
15	2/16（木）	海童保育園	㊟利用案内･見学／貸出／おはなし会	園児 55 人／引率 8 人
16	2/28（火）	明朗幼稚園	㊟貸出	園児 50 人／引率 5 人
17	3/2（木）	海童保育園	㊟返却・貸出	園児 52 人／引率 9 人
18	3/7（火）	明朗幼稚園	㊟貸出	園児 12 人／引率 2 人
	計			554 人

（2）成果と課題

◆研修・職場体験

コロナ禍のため、令和３年度の研修は２件にとどまっていたが、令和４年度は、一般２件、高校１件、中学校２件、体験者 9 人の申込みがあり、ようやくコロナ禍前の実施件数に戻ってきたようだ。このうち、台風接近のため東部中学校（2 人）の体験が中止になってしまい残念だった。

職場体験は、しっかりと感染防止策をとりながら、さまざまな図書館業務を体験してもらった。外から見えるカウンターの仕事だけでなく、本や雑誌の装備や「みにみに図書館」（巡回図書）の手伝いなども体験してもらい、図書館の仕事について理解を深めてもらえるよい機会となった。

◆視察･施設見学

幼稚園や保育園、小学校など団体での来館は、令和４年度の 14 団体から 12 団体に減少した。そのうち３団体は２回来館されたので、実施回数は令和４年度と同じだった。コロナが落ち着いてきたので今後依頼は増えると予想される。特に図書館利用が困難な遠隔地の園・学校の子どもたちには、公共施設の利用方法を知り直接本を選ぶ喜びを実感できる機会となってほしい。依頼が集中する時期の見学時に行うおはなし会では読み語りボランティアに協力してもらうことができ、職員の負担軽減にもなった。また、通常の幼稚園や保育園、小学校などからの見学のほか、スマートフォンでのバーコード表示機能の導入 （p.11）について鳥栖市立図書館から視察があった。

２）他機関との連携事業

※No. 欄のマークについて
㋐…アウトリーチ
㊞…他機関との連携（他機関からの依頼によるもの）

（1）実施実績　※他機関からの依頼によるもの

No	実施日	事業名	内　容	実　績
1 ㊞	4/14（木）	まちづくり出前講座 「図書館と本の魅力」	【内　容】鹿島市生涯学習課事業「鹿島市出前講座」のメニューの１つである図書館スタッフによる講座。図書館案内や図書館の便利な使い方説明のほか、ブックトーク等を実施。 【対　象】鹿島友の会 【場　所】図書館及びエイブル３階研修室	18 人
2 ㊞	5/8（日）	エイブル祭り オープニングセレモニー 『マンガふるさとの偉人田澤義鋪』 出版記念講演会	【内　容】『マンガふるさとの偉人田澤義鋪』出版を記念し、エイブル祭りのオープニングセレモニーとして講演会を実施。内容は２部構成で以下のとおり。 ①基調講演「新たな視点から描くこれからの田澤義鋪」 ②パネルディスカッション 「偉人マンガ『田澤義鋪』制作の舞台裏」 ※参加者のうち希望者に偉人マンガ（非売品）を配布。 【連　携】エイブル事務局 【対　象】全般 【場　所】エイブルホール 【参加者内訳】一般 151 人／高校生 13 人	164 人
3 ㊞ ㋐	7/18（月･祝）	鹿島市干潟交流館 なな海の夏休みイベント 「ストームグラスを作ろう」 でのブックトーク	【内　容】鹿島市干潟交流館の夏休みイベントに出向き、ブックトークによる関連本の紹介のほか、現地での本の貸出を実施。 【連　携】鹿島市干潟交流館 なな海 【対　象】小学校３年生以上 【場　所】鹿島市干潟交流館 なな海 【参加者内訳】14 組 22 人 【貸　出】6 人 12 冊	22 人
4 ㊞	7/31（日）	第１回かしまこどもフェス おはなしパパとえほん Time	【内　容】かしまこどもフェス協力事業として、父親や祖父によるおはなし会を実施。大型絵本や絵本とピアノのコラボによる読み語りのほか、マジックを実施。 【連　携】かしまこどもフェス実行委員会 【対　象】乳幼児から小学低学年の子どもと保護者 【場　所】エイブル３階研修室 【出　演】子育て中の父親や祖父 【参加者内訳】子ども 10 人／大人 10 人…７組	20 人
		第１回かしまこどもフェス 妖怪顔はめパネル設置	【内　容】エイブル内の各所に設置の妖怪顔はめパネルフォトスポットのうち１つを図書館内に設置。	
5 ㊞	8/2（火）	放課後児童クラブ DVD 上映会①	【内　容】夏休みの放課後児童クラブイベントとして図書館所有ＤＶＤの上映会（２本）を実施。 【共　催】鹿島市福祉課 【対　象】鹿島・明倫地区の放課後児童クラブ ・わんぱくクラブ（鹿島小） ・ほがらかクラブ･げんきクラブ（明倫小） 【場　所】エイブルホール	200 人 程度

No	実施日	事業名	内　容	実　績
6 ㊟	8/4（木）	市内学校図書館司書補研修	【内　容】市内の９小･中学校図書館の司書補対象の研修。本の修理の実践や絵本カバーを使ったエコバッグ作り、情報交換等を実施。 【連　携】鹿島市教育総務課 【対　象】市内学校図書館司書補 【場　所】エイブル３階研修室Ａ 【貸　出】２人／４冊	９人
7 ㊟	8/6（土）	鹿島市少年体験活動事業 鹿島市子ども体験塾 絵本の読み語り ＆かんたん楽ちんランチ	【内　容】生涯学習課事業の中で、図書館スタッフによる絵本の読み語りと本の貸出を実施。 【連　携】生涯学習課 【対　象】市内小学校１年生～４年生の親子 【場　所】エイブル２階 和室 【参加者内訳】小学生 12 人／保護者 11 人…11 家族 【貸　出】７人／８冊	23 人
8 ㊟	8/9（火）	放課後児童クラブ DVD 上映会②	【内　容】夏休みの放課後児童クラブイベントとして図書館所有ＤＶＤの上映会（１本）を実施。 【共　催】鹿島市福祉課 【対　象】鹿島地区の放課後児童クラブ ・わんぱくクラブ（鹿島小） 【場　所】エイブルホール	100 人 程度
9 ㊟	8/10（火）	放課後児童クラブ DVD 上映会③	【内　容】夏休みの放課後児童クラブイベントとして図書館所有ＤＶＤの上映会（午前２本／午後１本）を実施。 【共　催】鹿島市福祉課 【対　象】鹿島・明倫地区の放課後児童クラブ ・わんぱくクラブ（鹿島小） ・ほがらかクラブ･げんきクラブ（明倫小） 【場　所】エイブルホール	200 人 程度
10 ㊟ ㋐	8/11（木･祝）	鹿島市干潟交流館 なな海の夏休みイベント 「ひがたの中には何がある？」 でのブックトーク	【内　容】鹿島市干潟交流館の夏休みイベントに出向き、ブックトークによる関連本の紹介のほか、現地での本の貸出を実施。 【連　携】鹿島市干潟交流館 なな海 【対　象】小学校３年生以上 【場　所】鹿島市干潟交流館 なな海 【参加者内訳】２組５人 【貸　出】２人／５冊	５人
11 ㊟ ㋐	8/20（土）	鹿島市干潟交流館 なな海の夏休みイベント 「ガタどろだんごを 作ってみよう！」 でのブックトーク	【内　容】鹿島市干潟交流館の夏休みイベントに出向き、ブックトークによる関連本の紹介のほか、現地での本の貸出を実施。 【連　携】鹿島市干潟交流館 なな海 【対　象】小学校１年生以上 【場　所】鹿島市干潟交流館 なな海 【参加者内訳】２組６人 【貸　出】０人／０冊	６人
12 ㊟	11/13（日）	ファミサポ５周年記念事業 ファミサポ５周年お祝いコラボ！ 幸せゆずり会 （待機者向けおはなし会）	【内　容】幸せゆずり会の待機者向けおはなし会。図書館スタッフによる大型絵本や大型紙芝居、手遊び等を実施。 【連　携】鹿島市福祉課、子育て支援センター 【対　象】幸せゆずり会参加者 【場　所】エイブルホール（おはなし会） 【参加者内訳】幸せゆずり会参加者 168 人のうち待機者	168 人 のうち 待機者
13 ㊟ ㋐	12/12（月）	七浦小金銭教育講座①	【内　容】七浦公民館、佐賀県金融広報委員会主催の金銭教育の授業の中で、ブックトークと学級文庫の貸出を実施。 【連　携】七浦公民館、佐賀県金融広報委員会 【対　象】七浦小学校３年生（児童 21 人／教諭２人） 【場　所】七浦小学校 【貸　出】30 冊　※学級文庫として	23 人
14 ㊟ ㋐	1/16（月）	七浦小金銭教育講座②	【内　容】七浦公民館、佐賀県金融広報委員会主催の金銭教育の授業の中で、ブックトークと学級文庫の貸出を実施。 【連　携】七浦公民館、佐賀県金融広報委員会 【対　象】七浦小学校５年生（児童 14 人／教諭３人） 【場　所】七浦小学校 【貸　出】30 冊　※学級文庫として	17 人
15 ㊟	2/4（土） ～ 2/18（土）	展示 「日本全国 ご当地キャラクター ～コロナにまけるな～」	【内　容】心臓の難病と闘いながら生活している北永健人さん（小学４年生）が制作した、日本全国のご当地キャラクター折り紙の作品展示。あわせて難病に関する資料を集めたコーナーや健人さんへのメッセージ BOX も設置。 ※全国各地で順次展示を行われており、佐賀県のご当地キャラクターとして鹿島市のかし丸くんを制作されていたため、当館で展示を行うこととなりました。 【作　者】北永健人さん（小学４年生／山口県在住） 【対　象】全般 【場　所】図書館内	－

No	実施日	事業名	内　容	実　績
16 ㊐	2/5（日）	令和４年度 読み聞かせスキルアップ 講習会	【内　容】佐賀県まなび課と当館の共催により、県内の読み聞かせグループや地域で読み聞かせ活動を行っている方のスキルアップを図るための講習会を実施。 【講　師】竹中淑子さん（子どもの本研究所） 【共　催】佐賀県まなび課 【対　象】地域において読み聞かせ活動をされているグループおよび個人、図書館の職員等 【場　所】エイブル３階研修室	30 人
17 ㊐ ㋐	2/20（月）	古枝小金銭教育講座	【内　容】佐賀県金融広報委員会主催の金銭教育の授業の中で、ブックトークと学級文庫の貸出を実施。 【連　携】古枝公民館、佐賀県金融広報委員会 【対　象】古枝小学校４年生（児童 31 人／教諭３人） 【場　所】古枝小学校 【貸　出】30 冊　※学級文庫として	34 人

◆金銭教育講座　実施実績表 No.13、14、17

佐賀県金融委員会と公民館との連携事業で、お金の計画的な使い方や親への感謝の気持ちを持つように小学校の授業で金銭教育講座を実施されている。そのなかで、図書館もブックトークと学級文庫の貸出で参加させてもらっている。例年七浦小学校の３年生と５年生で実施されていたが、令和４年度から古枝小学校でも実施されることになった。令和４年度も授業の関連本を選書して学級文庫として貸し出し、お金に関する本やテーマを広げる本の紹介を行った。貸出した本は、児童や先生に活用してもらったり、学校図書館の選書の参考にしているとのことだった。

児童たちや先生方に図書館のことを知ってもらえるよい機会になるため、今後もぜひ参加させてもらいたい。

◆かしまこどもフェス「おはなしパパとえほんＴｉｍｅ」　実施実績表 No.4

令和３年度の「かしまこどもフェス」は、新型コナウイルス感染拡大で開催直前に中止となったが、令和４年度はコロナ感染防止策をとりながら開催された。実行委員会からの協力依頼により「おはなしパパとえほん Time」の企画運営を行った。男性による読み語りのおはなし会は、人数制限のある中、市外からの参加者もあり好評だった。また、「妖怪顔はめパネルフォトスポット」を図書館内にも設置し多くの参加があった。

今回の「かしまこどもフェス」が開催に至るまでには全体の流れの把握ができにくく実行委員会との連携に苦慮したが、市民による実行委員会形式での企画運営から学ぶことは多かった。

◆ファミサポ５周年お祝いコラボ！幸せゆずり会（待機者向けおはなし会）　実施実績表 No.12

本来、かしまこどもフェスで開催を予定されていた「幸せゆずり会」はコロナ感染拡大で延期となった。新たに子育て支援センター事業として「ファミサポ５周年お祝いコラボ！幸せゆずり会」が開催され、参加待機者向けおはなし会を図書館とエイブルスタッフで行った。エイブルホールが会場であったことから、待機者のほとんどが出入口付近に集中しており、参加者の表情が確認できにくかった。また、参加者も非常に少なかった。しかし、オープニングセレモニーの開始前に､おはなし会やWEB予約とスマホで図書館カードのバーコード表示ちらしの配布や案内を行うことができ、図書館 PR の機会になった。

（２）成果と課題

令和４年度は１年間で 17 件の連携事業を行った。

恒例事業も多くなったが、新たな事業として「まちづくり出前講座『図書館と本の魅力』」では、図書館案内や図書館の便利な使い方の説明を行い、図書館を身近に感じてもらえた。「エイブル祭り『マンガふるさとの偉人田澤義鋪』出版記念講演会」では、新たな視点から田澤義鋪を知ってもらい、パネルディスカッションでは偉人マンガの制作の舞台裏も知る機会となり関心を深めることができた。「放課後児童クラブ DVD 上映会」は３回にわたり上映会を実施し延べ 500 人の児童が参加し子どもたちにとっての夏休みの楽しみを提供することができた。「展示『日本全国ご当地キャラクター～コロナにまけるな～』」では、心臓の難病で闘病中の小学生が制作した日本全国のご当地キャラクター折り紙を展示し、かし丸くんをオリジナルで制作したことをきっかけに展示を行った。同時に難病に関する資料も展示することで市民の皆様に関心を深めてもらう機会となった。

今後も他機関との連携を深め企画内容を充実し図書館利用者増につなげていく。

3）ボランティア

（1）実施実績

①読み語りボランティア

	活動回数	人数
企画事業	3	21
土曜日のおはなし会※	0	0
合計	3	21

(単位：回)　（単位：人）

②本の修理ボランティア

	活動回数	のべ人数	修理冊数
年間	30	30	297

(単位：回)　（単位：人）　（単位：冊）

※土曜日のおはなし会：新型コロナウイルスの状況により令和４年度は、ボランティア協力の依頼は行っていない。

（2）成果と課題

読み語りボランティアには、鹿島市民図書館の開館直後から、定例の土曜日のおはなし会や特大おはなし会及び絵本読み語り隊で活動していただいている。しかし、新型コロナウイルス感染拡大のため、令和元年２月からは協力依頼を自粛し、令和３年度も動画配信による「天の川お星さまおはなし会」への出演（2名）にとどまっていた。そのような中、令和４年度は、時間短縮と人数制限を行い対面での「天の川お星さまおはなし会」の開催が実現し、多くのボランティアに出演･協力いただくことができた。今後も、子どもたちと読み語りボランティアが一緒に絵本の世界を楽しめる場、読み語りのスキルアップの場にもなるよう活動の機会を増やしていきたい。

本の修理ボランティアは、市民力を活かした図書館運営を目的とし、令和２年度に実施した本の修理講座で新たに７名の方に登録いただいた。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、すぐには活動ができずにいたが、令和３年度から次第に通常活動ができるようになり、令和４年度には、コンスタントに本の修理に参加していただき本格的な活動となった。修理を必要とする本は、日々発生しており、職員だけでは手が回らないこともあったが、ボランティアのおかげで、業務に集中でき大変助かっている。

今後もボランティアと協力し合いながら、市民力を活かした図書館運営を目指していく。

V 学芸部

学芸部事業実績

1）講演

（1）自主講演

令和４年度の自主講演は、なし。

（2）派遣講演

①実施実績

※No. 欄のマークについて
㊥…派遣依頼により実施
㊡…連携事業
㊢…新型コロナの影響で開催時期や内容の変更を行った事業

No.	実施日	事業名	内　容	実　績
1 ㊡	4/10（日）	床の間展示 ギャラリートーク	【演　題】史料が語る政治教育者田澤義鋪の生涯と功績 【内　容】令和３年度に刊行した書籍『鹿島歴史文庫 田澤義鋪 ～今につながる政治教育の「源流」～ 』の内容紹介と解説。 【対　象】全般 【場　所】エイブル 【主　催】一財）鹿島市民立生涯学習･文化振興財団	30 人
2 ㊡ ㊥	4/12（火）	エイブル出前授業	【演　題】ふるさとの偉人田澤義鋪 【内　容】令和３年度に制作した『マンガふるさとの偉人 田澤義鋪 ～鹿島が生んだ現代日本の設計者～』を利活用し、政治教育者としての田澤義鋪の功績を紹介。 【対　象】鹿島高校１年生 【場　所】鹿島高校体育館 【主　催】一財）鹿島市民立生涯学習･文化振興財団	239 人
3 ㊡	5/8（日）	第 20 回エイブル祭り オープニングセレモニー 『マンガふるさとの偉人 田澤義鋪』出版記念講演会	【演　題】新たな視点から描くこれからの田澤義鋪 【内　容】令和３年度に制作した『マンガふるさとの偉人 田澤義鋪 ～鹿島が生んだ現代日本の設計者～』の出版を記念した講演会での基調講演。 【対　象】全般 【場　所】エイブルホール 【主　催】一財）鹿島市民立生涯学習･文化振興財団	164 人
4 ㊥	5/24（火）	鹿島市出前講座①	【演　題】ふるさとの偉人田澤義鋪 【内　容】令和３年度に制作した『マンガふるさとの偉人 田澤義鋪 ～鹿島が生んだ現代日本の設計者～』を利活用し、政治教育者としての田澤義鋪の功績を紹介。 【場　所】鹿島市商工会議所 【主　催】鹿島市ロータリークラブ	30 人
5 ㊥	5/27（金）	七浦地区振興会総会講演	【演　題】近代七浦地区の神社 【内　容】近世から近代にかけての七浦地区の神社の歴史を紹介。 【場　所】七浦公民館 【主　催】七浦地区振興会	40 人
6 ㊥	5/28（土）	中牟田区講演会	【演　題】中牟田区有文書の意義 【内　容】中牟田公民館から発見された区有文書を読み解き、中牟田区の歴史を紹介。 【場　所】中牟田公民館 【主　催】中牟田区	16 人
7 ㊥	6/9（木）	鹿島市出前講座②	【演　題】ふるさとの偉人田澤義鋪 【内　容】令和３年度に制作した『マンガふるさとの偉人 田澤義鋪 ～鹿島が生んだ現代日本の設計者～』を利活用し、政治教育者としての田澤義鋪の功績を紹介。 【対　象】看護学校生徒 【場　所】田澤義鋪記念館 【主　催】鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校	28 人
8 ㊥	6/16（木）	ユースカレッジ講師 「田澤をめぐるツアー」	【演　題】旭ヶ丘公園史跡めぐり 【内　容】旭ヶ岡公園に散在する石碑について現地研修を行い、石碑･碑文の意義と鹿島の歴史･文化の特徴を紹介。 【対　象】ユースカレッジ受講生 【場　所】旭ヶ岡公園･六洲荘･大手門 【主　催】田澤義鋪記念館	19 人

No.	実施日	事業名	内　容	実　績
9 派	6/30（木）	鹿島市出前講座③	【演　題】ふるさとの偉人田澤義鋪 【内　容】令和３年度に制作した『マンガふるさとの偉人 田澤義鋪～鹿島が生んだ現代日本の設計者～』を利活用し、政治教育者としての田澤義鋪の功績を紹介。 【対　象】西部中学校１年生 【場　所】西部中学校 【主　催】西部中学校	144 人
10 派	7/27（水）	ゆめさが大学夏期集中講座	【演　題】『田澤義鋪』～鹿島が生んだ現代日本の設計者～ 【内　容】令和３年度に刊行した書籍『鹿島歴史文庫 田澤義鋪～今につながる政治教育の「源流」～』を利活用し、政治教育者としての田澤義鋪の功績を紹介。 【対　象】ゆめさが大学夏期集中講座歴史コース 【場　所】アバンセ 【主　催】ゆめさが大学	60 人
11 派	8/18（木）	ユースカレッジ講師①	【演　題】『鹿島歴史文庫 田澤義鋪～今につながる政治教育の「源流」～』を読む 【内　容】令和３年度に刊行した書籍『鹿島歴史文庫 田澤義鋪～今につながる政治教育の「源流」～』を利活用し、政治教育者としての田澤義鋪の功績を紹介。 【対　象】ユースカレッジ受講生 【場　所】田澤義鋪記念館 【主　催】田澤義鋪記念館	19 人
12 派	8/24（水）	鹿島市出前講座④	【演　題】小舟津の歴史と文化 【内　容】小舟津区有文書の調査成果を中心に、小舟津区の歴史と文化を紹介。 【対　象】小舟津老人会 【場　所】小舟津公民館 【主　催】小舟津老人会	35 人
13 派	8/30（火）	古枝小学校地域学習	【演　題】田島勝爾の生涯と功績 【内　容】鹿島における果樹栽培の先駆者田島勝爾の生涯と功績を紹介。 【対　象】古枝小学校５年生 【場　所】古枝小学校 【主　催】古枝小学校	40 人
14 派	9/7（水）	ユースカレッジ講師②	【演　題】『鹿島歴史文庫 田澤義鋪～今につながる政治教育の「源流」～』を読む 【内　容】令和３年度に刊行した書籍『鹿島歴史文庫 田澤義鋪～今につながる政治教育の「源流」～』を利活用し、近代の女性を取り巻く政治環境と田澤義鋪による女性への政治教育を紹介。田澤義鋪ゆかりの史跡案内も。 【対　象】ユースカレッジ受講生 【場　所】田澤義鋪記念館、 祐徳稲荷神社･普明寺･田島勝爾石像･泰智寺 【主　催】田澤義鋪記念館	19 人
15 派 コ	9/10（土）	佐賀医学史研究会講演	【演　題】佐賀医史跡めぐり 【内　容】田澤義鋪の事績とゆかりの史跡を紹介。 【対　象】佐賀医学史研究会 会員 【場　所】田澤義鋪記念館･旭ヶ岡公園 【主　催】佐賀医学史研究会	中止
16 派	9/28（水） ※台風により 9/6（火） から変更	古枝小学校地域学習	【演　題】田島勝爾の史跡めぐり 【内　容】田島勝爾の石像やみかん農園跡を案内。現地にて、地元の人による話も。 【対　象】古枝小学校５年生 【場　所】久保山地区 【主　催】古枝小学校	40 人
17 派	10/10 （月・祝）	中村與右衛門屋敷講演会	【演　題】歴史史料でみる中村家の歴史 【内　容】近代において、３代にわたり七浦村長を輩出した中村家の歴史について、中村家と佐賀県立図書館に伝来する歴史史料を用い、新たな視点から紹介。 【対　象】全般 【場　所】音成区中村與右衛門屋敷 【主　催】中村與右衛門屋敷保存会	45 人
18 派	10/27（木）	神埼市立図書館 文学散歩講演	【演　題】田澤義鋪と下村湖人 【内　容】田澤義鋪と下村湖人･吉田絃二郎との交流、鹿島小学校に伝わる下村湖人の手紙などを紹介。 【対　象】全般 【場　所】田澤義鋪記念館、旭ヶ岡公園など 【主　催】神埼市立図書館･吉田絃二郎顕彰会	26 人

No.	実施日	事業名	内　容	実　績
19 ㊥	11/2（水）	七浦小学校６年生 総合的な学習	【演　題】七浦の歴史と景観 【内　容】七浦地区の自然環境とその中で、地域の人々がどのように歴史を築いてきたのかを紹介。 【対　象】七浦小学校６年生 【場　所】七浦小学校 【主　催】七浦小学校	13 人
20 ㊥	11/10（木）	鹿島市出前講座⑤	【演　題】鹿島神社めぐり 【内　容】鹿島市内の氏子社を中心に、鹿島市内の神社をバスで巡りそれぞれの神社の歴史を紹介。 【対　象】鹿島市神社連合氏子婦人会 会員 【場　所】鹿島市内の神社（山祇神社･松岡神社･天子神社･五ノ宮神社･琴路神社･三嶽神社） 【主　催】鹿島市神社連合氏子婦人会	17 人
21 ㊥	11/15（火）	古枝小学校地域学習	【演　題】竹ノ木庭水道を歩く 【内　容】竹ノ木庭水道の成り立ちとその周辺に広がる開発の歴史を紹介。 【対　象】古枝小学校５年生 【場　所】古枝小学校 【主　催】古枝小学校	40 人
22 ㊥	11/19（土）	多久市孔子の里講演	【演　題】草場佩川と鹿島～文事が繋ぐ交流～ 【内　容】多久の歴史と文化を学ぶ講座。 多久市郷土資料館が所蔵する草場家資料をもとに、鹿島藩における文教の礎を築いた多久と鹿島の交流を紹介。 【対　象】全般 【場　所】東原庠舎 【主　催】公益財団法人孔子の里	9 人
23 ㊥	12/15（木）	ユースカレッジ講師③	【演　題】『鹿島歴史文庫 田澤義鋪～今につながる政治教育の「源流」～』を読む 【内　容】令和３年度に刊行した書籍『鹿島歴史文庫 田澤義鋪～今につながる政治教育の「源流」～』を利活用し、田澤が生きた戦前の社会とコロナ禍の現代社会に共通する同調圧力に着目し、田澤がどのように克服しようとしたのを紹介。 【対　象】ユースカレッジ受講生 【場　所】田澤義鋪記念館 【主　催】田澤義鋪記念館	19 人
24 ㊥	1/11（水）	肥前浜宿 水とまちなみの会 定例会講演	【演　題】鹿島藩の“志士”八沢棣之進の生涯 【内　容】浜宿の観光案内に資するため、昨年改葬された鹿島藩“唯一の志士”八沢棣之進の生涯を紹介。 【対　象】肥前浜宿水とまちなみの会 会員 【場　所】浜公民館 【主　催】肥前浜宿水とまちなみの会	25 人
25 ㊥	2/16（木）	鹿島史談会定例会講演	【演　題】近代鹿島の戦争体験 【内　容】招魂祭･忠魂碑を取り上げ、その変遷を通じて、近代鹿島の戦争体験を紹介。 【対　象】鹿島史談会 会員 【場　所】田澤義鋪記念館 【主　催】鹿島史談会	15 人
26 ㊥	2/26（日）	鹿島市文化連盟 文化講演会	【演　題】中野万亀と近代鹿島～地域の絆を作り上げた女性～ 【内　容】女性の立場から地域づくりに貢献し、地域発展の絆と礎を築いた中野万亀の生涯を紹介。 【対　象】全般 【場　所】エイブルホール 【主　催】鹿島市文化連盟	108 人
27 ㊥	3/13（月）	楠風会鹿島･嬉野･藤津支部 現地研修	【演　題】多良海道を歩く 【内　容】北鹿島の古渡（ふるわたし）から七浦の矢答（やごたえ）までの多良海道の沿線をバスで巡る。 【対　象】楠風会鹿島･嬉野･藤津支部 会員 【場　所】多良海道沿線 【主　催】楠風会鹿島･嬉野･藤津支部	16 人
28 ㊥	3/23（木）	七浦公民館 健康ウォーキング	【内　容】鹿島市の文化財に指定されている嬉野氏人形墓石墓を紹介。 【対　象】全般 【場　所】嬉野氏人形墓石墓（中浅浦区） 【主　催】七浦公民館 ※担当者は当日不参加　（生涯学習課の担当により代行実施）	24 人

＜参考＞　『人間文化研究機構 国文学研究資料館 共同研究員』に委嘱されており、実施。

No.	実施日	事業名	内　容	実　績
1	10/23（日）	第１回 中川文庫セミナー	【演　題】篤誠院の蔵書と鹿島藩 【内　容】中川文庫の目録作成のための悉(しっ)皆調査により明らかになった篤誠院収集書物の意義と鹿島藩政に与えた影響を紹介。 【対　象】全般 【場　所】祐徳稲荷神社参集殿 【主　催】国文学研究資料館	30 人

◆鹿島市出前講座③「ふるさとの偉人田澤義鋪」　実施実績表 No. 9

本事業は、令和 3 年度に制作した偉人マンガ『田澤義鋪～鹿島が生んだ現代日本の設計者～』の利活用事業として実施した。

中学校には事前にマンガの通読を依頼しており、それを前提に、マンガの場面をスライド化して、なぜ田澤義鋪が現代日本の設計者と言えるのかを紹介した。マンガの場面を利用したため、比較的最後まで真剣に聞く姿勢を保ってくれていた。また、感想交流では、自分達の力だけで図書館を作ったこと、女性の政治参加の 2 点が特に多く挙げられていた。各学級で活発な感想交流が行われたことで、生徒がどのような場面に琴線を動かされたのかを知ることもできたので、今後の出前講座を行う上で、大いに参考にしていきたい。

◆多久市孔子の里講演「草場佩川と鹿島～文事が繋ぐ交流～」　実施実績表 No. 22

公益財団法人孔子の里は、毎年、多久の歴史と文化を学ぶ講座を 6 回開催しており、これまで多久市郷土資料館の調査を行っていた経緯から、講師に推薦され、引き受けた。講演では、多久市郷土資料館所蔵の草場家資料をもとに、文事を通じた鹿島と多久の交流の展開とその特徴を紹介した。

本事業は、学芸部による市外における鹿島関係史料の発掘･調査の成果である。多久市郷土資料館には鹿島に関するさまざまな史料が収められており、そうした史料の研究成果を地域に還元する機会となった。

今後も、調査先と連携して、市外における講演についても実施を検討していきたい。

◆鹿島市文化連盟文化講演会
「中野万亀と近代鹿島～地域の絆を作り上げた女性～」①　実施実績表 No. 26

鹿島市文化連盟から、これまでの市内各地での講演実績を評価され、文化講演会の講師を依頼された。

講演では、鹿島市の現状を踏まえ、これからの新しい地域社会づくりに取り組んでいく上で、自立性と協調性を兼ね備えた人材を濃密に送り出す仕組みを段階的に実現していった中野万亀の事績から学ぶことが多いことを紹介した。戦後の鹿島を牽引してきた地域の絆が衰退･消滅し、さらに、急激な人口減少･鉄道網の衰退が加わる中において、これまで鹿島の地で共に生きるために必死に取り組んできた先人たちの知恵と工夫をより知り、より学ぶべき時代に来ていることを指摘した。

②成果と課題

令和 4 年度は、26 本の講演を実施した。この他にも新型コロナウイルスの関係などで中止になったものが 2 本あった。実施講演は当財団事務局（田澤義鋪記念館も含む）との連携事業が 7 本、鹿島市の出前講座として行ったものが 5 本で、そのほかは外部からの依頼講演であった。

ここ数年猛威を振るった新型コロナウイルスの影響が減退したこともあり、講演は前年度の 11 本から倍増した。前半は田澤義鋪顕彰事業に関係した講演が多かったが、後半は各地の先人たち（田島勝爾や中野万亀）の営みを紹介する講演が多かった。

学芸部創設以来、これまでの調査･研究の成果を地域に還元する講演には力を入れ、依頼のあった講演には対応してきた。そうした成果もあり、鹿島市文化連盟の文化講演会などの大規模な講演会の講師にも声がかかるようになってきた。

今後も、可能な限り地域からの要望に応える内容を備えた講演を実施していきたい。

2）展示

（1）実施実績

No	期　間	内　容	場　所
1	4月～6月	「田澤義鋪展～ふたたび歩み出す郷土の偉人～」	床の間コーナー
2	4月～6月	「近代鹿島の文学風土と田澤義鋪」	図書館地域資料コーナー
3	7月～9月	「近代鹿島の文学風土～夏を詠む～」	〃
4	10月～12月	「近代鹿島の文学風土～鍋島直彬と鹿島の漢詩文化～」	〃
5	1月～2月	「近代鹿島の文学風土～新年に詠む～」	〃
6	3月	「近代鹿島の文学風土～旭ヶ岡公園～」	〃

（2）成果と課題

令和 4 年度は、鹿島市生涯学習センター･エイブルの床の間コーナーにおいて、当財団事務局との共催事業「田澤義鋪展～ふたたび歩み出す郷土の偉人～」を実施した。佐賀県立図書館が所蔵する田澤義鋪日記の原本をはじめて展示し、新聞記事でも取り上げられた。また、図書館内の地域展示コーナーにて鹿島の漢詩文を紹介する 4 回の展示を行った。

令和5年度も引き続き､床の間コーナー及び図書館地域資料コーナーにて展示を実施し､広報を含めて、観覧者の増加を図っていく。

3）古文書

（1）管理状況（点検結果）

図書部の蔵書点検及び図書館システム更新に合わせ、9 月 16 日から 30 日にかけて古文書の所在確認を行い、遺漏がないことを確認した。また、近年頻発する大雨特別警報への対応として、古文書整理棚の整理を行い、古文書原本を書架の下部から 1 段目と 2 段目に配架しないように工夫した。

（2）利用状況　※デジタル化資料を含む

図書館では、平成 24 年度から自館で所蔵する古文書のうち、鹿島鍋島家資料の近世分と西岡家資料のデジタル公開を行い、順次、鹿島鍋島家資料の近代分や近代町村役場文書を追加公開するなど、充実を図ってきた。

令和 4 年度はの利用は、ほとんどが鹿島藩士の系譜集の閲覧であった。研究者ではなく、先祖探しの一般利用者による利用が多く、新しい利用者の開拓に着実につながっている。

今後もデジタル公開史料の充実と情報発信に努めたい。

所蔵機関	資料形態	人数（のべ）	閲覧点数	複写･撮影枚数
鹿島市民図書館所蔵	原本	0	0	0
	デジタル化資料	7	26	0
その他機関所蔵	複製	0	0	0
	デジタル化資料	0	0	0
計		7	26	0
		（単位；人）	（単位；点）	（単位；枚）

※原本は撮影

（３）成果と課題

所蔵する古文書については、デジタル公開により、原本の保存と利活用の両立を図れ、安定した運用が可能になっている。ただし、利活用を想定していた古文書を読む意欲と能力を兼ね備えた地域住民自体が希少となり、閲覧件数も低減傾向にある。

今後は、学芸部主催の古文書教室を実施するなどして、古文書を利活用する人材を養成する取り組みについても検討していく。

４）鹿島歴史文庫『田澤義鋪 ～今につながる政治教育の「源流」～ 』

（１）販売状況

令和４年度末 … 98 冊（他機関への寄贈を含む） → 残り２冊

（２）成果と課題

『鹿島歴史文庫 田澤義鋪 ～今につながる政治教育の「源流」～』は 300 部を作成し、200 部を関係機関に寄贈した。残りの 100 部は一部 1,500 円で、令和４年４月１日から図書館にて一般販売した。本書や本書をもとにした偉人マンガ『田澤義鋪～鹿島が生んだ現代日本の設計者～』、田澤義鋪記念館の再オープンなどの話題が新聞記事に掲載されたこともあり、関心が高く、順調に販売部数を伸ばすことができた。

鹿島市の財政状況が厳しい中ではあるが、『鹿島歴史文庫』第２集の編纂･刊行に向けた予算獲得を目指していきたい。

５）外部委員･派遣依頼

（１）外部委員

・鹿島市文化財保護審議会委員（鹿島市生涯学習課）
・鹿島市歴史まちづくり協議会委員（鹿島市都市建設課）
・国文学研究資料館地域資料専門部会委員（国文学研究資料館）
・国文学研究資料館共同研究員（国文学研究資料館）
・佐賀大学地域学歴史文化研究センター特別研究員（佐賀大学地域学歴史文化センター）

（２）派遣（講師以外）

・鹿島市文化財保護審議会：10/24（月） ＠鹿島市役所
・新市民会館（仮称）利活用ワークショップ：11/8（火） ＠鹿島市役所

（３）成果と課題

令和４年度は、（１）に挙げた５つの外部委員の委嘱を受け、会議出席や執筆などを行った。こうした外部委員の委嘱は、学芸部の活動と見識が高く評価された結果の社会貢献活動と位置付けることができるものであり、令和５年度も継続して活動していく。

Ⅵ その他

1 寄附

1）市民の方（匿名）

令和４年度、鹿島市を通して図書館へいただいた匿名寄附の概要及び使途は以下のとおり。

＜概　要＞

寄附日	金　額	希望使途
寄附日：10 月 19 日 ※鹿島市生涯学習課への寄附	10 万円	備品の充実（※図書に限らない）など 図書館に役立つような使い方を

＜使　途＞　※鹿島市生涯学習課による購入備品の内訳

①木製棚 …… ２台
②サーキュレーター …… ３台
③フラップテーブル（長机） …… １台
④電波式掛時計 …… １台
⑤絵本 …… ２冊

①木製棚
児童視聴覚コーナー用

②サーキュレーター
館内用エアコン補助

③フラップテーブル（長机）
イベント用、展示用

④電波式掛時計
ティーンズコーナー用

⑤絵本『あしあと』
『だれのこえ』

2）志田玲子様ご遺族（志田知之様）

令和３年度、志田玲子様のご遺族（代表 志田知之 様）から、鹿島市にいただいた寄附金で、生涯学習課を通じて、エイブル･図書館の車を購入してもらった。車は「みにみに図書館」（市内幼稚園･保育園、小･中学校、公民館、企業等への巡回図書）の運搬等に活用させていただいている。

3）ふるさと納税

令和４年度、鹿島市における図書購入費へのふるさと納税の充当額及び使途は以下のとおり。

充 当 額：80 万円　※鹿島市生涯学習課の予算として充当
使　　途：図書資料（児童書を中心に 441 冊）　※鹿島市生涯学習課で購入

２ 助成事業「偉人マンガの製作と活用事業」

海洋センター所在自治体を対象にブルーシー･アンド･グリーンランド財団（B&G 財団）が実施している助成事業により、令和 3 年度に郷土ゆかりの偉人を紹介するマンガを制作、令和 4 年度は、そのマンガを活用し、市内小中学校授業への導入や公共施設への配布等を行った。概要は以下のとおり。

※補助率 100%（補助上限 3,000,000 円）

１）図書部

・こどもの読書週間イベント しおりをつくろう！ （p.18 実施実績表 No.2）
・読書手帖配布（p.24 実施実績表 No.1）
・マンガふるさとの偉人「田澤義鋪」パネル展（p.24 実施実績表 No.2）

２）学芸部

・床の間展示ギャラリートーク（p.35 実施実績表 No.1）
・エイブル出前授業（p.35 実施実績表 No.2）
・エイブル祭りオープニングセレモニー『マンガふるさとの偉人田澤義鋪』出版記念講演会（p.35 実施実績表 No.3）
・鹿島市出前講座①（p.35 実施実績表 No.4）
・鹿島市出前講座②（p.35 実施実績表 No.7）
・鹿島市出前講座③（p.36 実施実績表 No.9）
・ゆめさが大学夏期集中講座（p.36 実施実績表 No.10）
・ユースカレッジ講師①（p.36 実施実績表 No.11）
・ユースカレッジ講師②（p.36 実施実績表 No.14）
・佐賀医学史研究会講演（p.36 実施実績表 No.15）…中止
・神埼市立図書館文学散歩講演（p.36 実施実績表 No.18）
・ユースカレッジ講師③（p.37 実施実績表 No.23）

参考：助成事業の概要

	概　　要	
内　　容	鹿島の偉人「田澤義鋪」についてのマンガ制作	
実施期間及び活動内容	令和 3 年 4 月	ワーキンググループを立ち上げ
	令和 3 年 6 月～	検討委員会を立ち上げ
	～令和 4 年 3 月	随時、ワーキンググループや検討委員会、実務者部会等も行いながら製作 3 月に偉人マンガ『田澤義鋪～鹿島が生んだ現代日本の設計者～』完成 ※2,000 部を市内小中高校、市内各地区公民館、県内公共図書館 等に配布
組織編成	偉人マンガ（田澤義鋪）製作･活用検討委員会：財団事務局･図書館･鹿島市生涯学習課等で組織	

３ その他

１）新型コロナウイルス及び災害等対応等

（１）新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応

新型コロナウイルス感染防止策については、政府見解、日本図書館協会のガイドライン、感染拡大の状況等を鑑みた上で、以下のとおり対応した。

①休館･利用制限

・令和４年度は、新型コロナウイルスの影響による休館及び利用制限はない。

②感染拡大防止のための対応

・館内の換気（空調機使用または自然換気）
・閲覧席の間隔を空けて全体の１／２程度を設置
　→ R5.1.4 から：閲覧席の一部（東側席）を復帰
・おはなしのへや、たたみの部屋、視聴覚資料ブース（視聴席）の利用不可
　→ R5.1.4 から：おはなしの部屋の利用を再開
　→ R5.2.17 から：視聴覚資料ブース（視聴席）の利用を一部再開
・間隔を保つためのフットプリント貼付
・館内滞在について“長時間の滞在はご遠慮いただく”旨のアナウンス
・飛沫防止パーテーション設置
・施設内各所の除菌拭き上げ
　→ R5.1.4 から：施設の除菌拭き上げを、接触頻度等を考慮し限定
・書架のカバー付き雑誌、除菌機を使用できない返却本、団体からの返却本等の除菌拭き上げ
　→ R5.1.4 から：資料の除菌拭き上げを、接触頻度等を考慮し限定
・図書除菌機の活用 ※利用者によるセルフ利用
・マスク着用･手指消毒への協力呼び掛けアナウンス
　→ R4.5.27 から：入館時から退館時まで、マスク着用推奨の基本原則は変更しない。
　　ただし「東窓際の机で着座しての１人読書時」のみ条件※に適合するとして緩和。
　　※屋内におけるマスク着用の緩和（条件“２m以上の距離を確保 ＆ 会話なし”）についての 5/20 政府見解
　　その後、6/22 に日本図書館協会「図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」も更新された
　→ R4.7.29 から：感染拡大を受け、東側閲覧席でのマスク着用緩和を中止（当面の間）
　→ R5.3.13 から：利用者のマスク着用は、個人の判断に委ねる。
　　5.7 まで（予定） 職員は基本的に、勤務中のマスク着用を継続する。
　　※厚生労働省「令和５年３月 13 日以降のマスク着用の考え方について」に基づく対応
・職員の体調管理として、出勤時の検温を実施
・企画事業やおはなし会等の実施
　※令和４年度の企画事業やおはなし会は、定員制による人数制限等を行いながら可能な限り対面で実施した。
　※詳細は各企画事業の項目を参照

③図書除菌機利用実績

利用者の方が安全･安心･快適に図書館資料を利用できるよう「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、令和２年度に導入した図書除菌機は、令和４年度も本を借りた利用者にセルフで利用してもらった。

>>> 令和４年度利用状況：1,620 回

（２）緊急時及び災害時対応

1/24（火）鹿島市で警報級の大雪と低温が予想されたため、17 時半で閉館した。

２）パート職員募集について（欠員補充）

以下の業務にあたるパート職員（１名）を４月１日付で新規に採用した。

＜主な業務内容＞
・土日カウンター業務
・みにみに図書館（巡回図書）選書･運搬業務

３）予約本配達サービス（試行）

概要等は、以下のとおり。

概　　要　：　事業所向け「みにみに図書館」のサービスポイントである東亜工機では、毎回巡回時に、「この本が読みたい」という要望があり、巡回本とは別に何らかの対応ができればと、このサービスの試行に至る。
手　　順　：　巡回時に個人予約を受付し、次の巡回時に用意ができた予約本を配達
試行期間　：　令和４年 11 月 17 日（木）～ 令和５年３月 16 日（木）
※試行期間を経て検討し、令和５年度から実施。
対　　象　：　東亜工機（事務所･谷田工場･大村方工場）
※最初の１ヵ月は事務所のみ。状況をみながら徐々に工場の方も対象とした。
場　　所　：　東亜工機内「みにみに図書館」置場
広　　報　：　試行期間につき公には広報しない。
※東亜工機内のみ、係の方からサービスを周知してもらう。

＜試行実績＞
新規カード登録：１名
予　　約：３名／４冊

４）“あい さが”（佐賀県立視覚障害者情報･交流センター）との連携貸出開始

４月１日から佐賀県立視覚障害者情報･交流センター“あい さが”（旧 佐賀県立点字図書館）と県内公共図書館の連携貸出が始まった。これにより“あい さが”の資料貸出方法のひとつとして、県内公共図書館での受け取りが可能となった。

>>> 令和４年度実績：０件

５）「佐賀うちどくフェスティバル in 鹿島」について

佐賀うちどくネットワーク主催で、平成 25 年度から県内各市で順番に開催されてきた「佐賀うちどくフェスティバル」について、令和５年度は鹿島市で開催されることが決定した。

＜概　要＞
開催日：令和５年 11 月 11 日（土）
場　所：鹿島市生涯学習センターエイブル ホール

資料）館内特集一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般	正面入口	■図書館で選挙を知ろう！	■おでかけプラン ■この１冊で　まるわかり！	■6/1は写真の日 ■「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ （同和対策室と連携／男女共同参画週間）	■海（海を知る上で参考になる本） ■読書感想文におすすめの本 （図書館スタッフ・市内校長先生・市内中学生）	→読書感想文におすすめの本 （図書館スタッフ・市内校長先生・市内中学生）	■いくら備えても油断せず防災対策
	貸出ｶｳﾝﾀ前	■田澤義鋪本・マンガ関連展示	■田澤義鋪本・マンガ関連展示	■奥深い和菓子の世界 （6/16は和菓子の日）	■日本人にとって野球とは	■戦争の記憶	■人も動物も幸せに（動物愛護週間）
	シニア	■いろいろな保存食に挑戦！	■CHA CHA CHA お茶	■男の家事	■自分整理～自分をリセット～	■ふるさとを家族と楽しむ	■敬老の日　読書のすすめ
	ピラミッド	■元気の源 お弁当 ■育てて食べる！育てて飾る！	■絵を楽しむ ■食でSDGｓ ～ムダなくおいしい保存食と発酵食品のすすめ～	■ジメジメ季節のカビ対策 ■ ６月10日 時の記念日 ■災害から身を守る！	■からだの痛みにこの1冊 ■夏バテ知らずの美味しいごはん	■家族で楽しむアウトドア ■ひんやり&さっぱり！夏だから食べたいもの	■病院に頼り過ぎない健康管理 ■米・こめ・コメ
	机２ﾋﾞｼﾞﾈｽ	■便利で素敵な文具の世界	■母を慕う ■コミュニケーション力UP(ｱｯﾌﾟ)	■あなたは何と呼んでますか？ おやじ・父さん・パパ ■金融と日本（7月1日は銀行の日）	→金融と日本（7月1日は銀行の日）	■節電	■9月は障害者雇用支援月間
	机３（１類前）	■新社会人に贈る本	■つかれた心をケアしよう	■日記（6/12は日記の日） →あなたは何と呼んでますか？ おやじ・父さん・パパ ■奇跡(ヘレン・ケラーの誕生日6月27日)	→奇跡(ヘレン・ケラーの誕生日6月27日) ■古代文明の歴史ロマン	■世界の祭り　日本の祭り ■命を救う人	■元気がでる本
	地域資料ｺｰﾅｰ						
児童	ﾌﾞｯｸﾄﾗｯｸ	■ウクライナとロシアを知ろう	■ページをめくれば旅気分♪ ■今年こそ成功させよう梅干	■本のそばには、いつも珈琲 ■梅雨の時期を快適にすごす知恵 ■第167回芥川賞・直木賞ﾉﾐﾈｰﾄ作品	→第167回芥川賞・直木賞ﾉﾐﾈｰﾄ作品 ■本気で怖い怪談小説	→第167回芥川賞・直木賞ﾉﾐﾈｰﾄ作品 ■同和問題啓発強調月間	■世界アルツハイマー月間 （保健健康課と連携／自殺予防週間） ■心のケア　「知らせてほしい、心のSOS」 （福祉課と連携／自殺予防週間）
	児童正面	■どきどきワクワク、ともだちできるかな！？ ■だいすき、ママ！	→だいすき、ママ！ ■じょうぶな歯	→じょうぶな歯 ■パパ、ありがとう♪ ■たなばたさま	■ほしにねがいを ■こわーいおはなしとおばけたち	■なつをたのしもう！	■お月さま、こんばんは！
	児童正面（机）						
	棚	→春の絵本と紙芝居 ■夏の絵本と紙芝居	→夏の絵本と紙芝居 ■梅雨の絵本と紙芝居	→梅雨の絵本と紙芝居 ■夏の絵本と紙芝居	■梅雨の絵本と紙芝居 ■夏の絵本と紙芝居	→夏の絵本と紙芝居	■秋の絵本と紙芝居
	棚	［常設］昔話・落語の絵本	［常設］昔話・落語の絵本	［常設］昔話・落語の絵本	［常設］昔話・落語の絵本	［常設］昔話・落語の絵本	［常設］昔話・落語の絵本
	ブーさん	■きれいだね、お花 ■動物、いっぱい！	■たくさん食べよう！ ■おでかけ楽しいな	■あめのひ、たのしいな！ ■ちちんぷいぷい魔法の絵本	■夏のいきものたち ■海だ！プールだ！	→海だ！プールだ！ ■しかけ絵本	■国内・海外の絵本賞受賞作品
	赤ちゃん向け	■いろ・かたちが楽しい絵本	■鹿島市民図書館職員おすすめの 赤ちゃん向け絵本	■からだをうごかそう	■じぶんでできるもん！	■リズムがたのしい「オノマトペ」絵本	■食欲の秋
	児童特集	［常設］SDGSって何だろう？	［常設］SDGSって何だろう？	［常設］SDGSって何だろう？	［常設］SDGSって何だろう？	［常設］SDGSって何だろう？	［常設］SDGSって何だろう？
	窓横	■あたらしいともだち ■だいすき、自然	→だいすき、自然 ■雨を楽しもう	■雨・雨・雨	■課題図書・指定図書	→課題図書・指定図書	■芸術の秋（音楽・美術など）
	窓横	［常設］サバイバルシリーズ	［常設］サバイバルシリーズ	［常設］サバイバルシリーズ ［常設］どっちが強い!?シリーズ	［常設］サバイバルシリーズ ［常設］どっちが強い!?シリーズ	［常設］サバイバルシリーズ ［常設］どっちが強い!?シリーズ	［常設］サバイバルシリーズ ［常設］どっちが強い!?シリーズ
	ブックトラック				■これまでの課題図書・自由研究に 役立つ本・戦争、平和の本	→これまでの課題図書・自由研究に 役立つ本・戦争、平和の本	
ティーンズ	特集１	■雑誌プレゼント参加者のおすすめ本 ■R3年度ヤングコーナー貸出ベスト(小説編)	■とにかく読もう！	■TIME	■読書感想文におすすめの本 ■読書感想文におすすめの本 （スタッフ・西部中1年生）	→読書感想文におすすめの本 ■いろいろあります○○図鑑	→いろいろあります○○図鑑
	特集２	■10代から学ぶお金と経済	■部活らいふ！ ■雨の日はゆっくりと	→雨の日はゆっくりと ■星に願いを	→星に願いを ■自由研究	→自由研究 ■自然と向き合う	→自然と向き合う
	机						
	譜面台	-	-	■令和4年度　読書感想文・感想画　課題図書	→令和4年度　読書感想文・感想画　課題図書	→令和4年度　読書感想文・感想画　課題図書	
視聴覚	ＡＶ前	■【DVD】お仕事映画 ■【CD】応援ソング	■【DVD】思い切り笑おう！コメディ ■【CD】どこかで聴いたことある！テレビソング	■【CD/DVD】のんびり、ゆったり。 ■【CD】フォークソング	■【DVD】家族で楽しめる映画 ■【CD】夏に聞きたい歌	【DVD】懐かしいあの頃…昭和の映画 ■【CD】音楽で旅しよう	■【DVD】心温まる感動映画 ■【CD】吹奏楽の音楽

■：新規
→：前月から継続
［常設］：常設

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般	正面入口	■秋の夜長、探偵気分でミステリー	■いい夫婦の日（11月22日）	■人権週間(同和対策課との連携展示) ■笑う門には福来る	■若者たちへ・先人からのエール	■自分でできる！確定申告 ～確定申告／知っておきたい税金～ (武雄税務署との連携)	■春の鹿島をあそびつくそう！
	貸出ｶｳﾝﾀ前	■川柳募集「としょかん川柳」	■川柳募集「としょかん川柳」 ■今年こそ早めに準備！年賀状	→今年こそ早めに準備！年賀状	■あの時君は若かった！懐かしの○○○	■雑誌ふろくプレゼント	→確定申告 ■旅立ち ■WBC
	シニア	■映画の原作を読んでみませんか！	■目でみて感じる秋	■温活（寒さをのりこえよう）	■からだイキイキシニアライフを楽しもう！関連	■これからのお金のこと	■心地よくぐっすり眠りたい！ ～春の睡眠健康週間
	ピラﾐｯﾄ	■スポーツの秋 ■アートにふれる秋	■魅惑のスイーツ ■秋冬のハンドメイド	■新年をスッキリ迎えよう！（掃除・片付け・修理） ■おもてなし料理（クリスマス・お正月のレシピ）	■2023年今年こそチャレンジ！ ～兎のように跳ねて飛躍を！～ ■お正月気分をリセット！	■バレンタインデー ～愛・感謝を伝える～ ■ ２月２２日ねこの日～にゃんにゃんにゃん～ ■どうする！？冬の皮膚トラブル	■新生活 ■春を楽しむ！
	机２ﾋﾞｼﾞﾈｽ	■鉄道の日（10月14日） ■ノーベル賞	■2022FIFAワールドカップ	■2022FIFAワールドカップ	■仕事始め（いきいき）	■わたしもできるボランティア ■走る（マラソン・ロードレース）パトラン鹿島	■はばたけ新社会人！
	机３（１類前）	■さがしもの	■カルトに嵌る ■日々の仕事を見つめなおしたい	■和の心を…	■大河ドラマ「どうする家康」	■SNS	■ベトナム文化にふれよう！ （エイブル講座関連）
	地域資料コーナー	■大集合！ 各地のふるさとの偉人たち	■大集合！ 各地のふるさとの偉人たち	■大集合！ 各地のふるさとの偉人たち			
児童	ﾌﾞｯｸﾄﾗｯｸ	■プラスマLifeさが （佐賀県循環型推進課との連携） ■全国地域安全運動10/10～10/20 （鹿島警察署との連携）	■ようこそ落語の世界へ ■冬はやっぱり ぽかぽかお風呂	■直木賞・芥川賞候補作品 →冬はやっぱり ぽかぽかお風呂	→直木賞・芥川賞候補作品 ■直木賞・芥川賞受賞作品決定 ■自分でできる！確定申告	■2023年ノミネート作品 ＆過去の本屋大賞受賞作品	■こころのとしょかん～自殺対策強化月間～ →2023年ノミネート作品 ＆過去の本屋大賞受賞作品
	児童正面	■ハロウィンを楽しもう！	■大きくなったら何になる？ ■クリスマス★	→クリスマス★ ■2023年はうさぎ年！うさぎが出てくる絵本	■2023年はうさぎ年！うさぎが出てくる絵本 ■鬼は外、福は内	■バレンタインデー愛がいっぱいの絵本 ■にゃんにゃんにゃんの日	■卒園・卒業　入園・入学おめでとう！
	児童正面（机）						
	棚	→秋の絵本と紙芝居	→秋の絵本と紙芝居 ■冬の絵本とクリスマス絵本・紙芝居	→冬の絵本と紙芝居	→冬の絵本と紙芝居	→冬の絵本と紙芝居 ■春の絵本と紙芝居	→春の絵本と紙芝居
	棚	［常設］昔話・落語の絵本	［常設］昔話・落語の絵本	［常設］昔話・落語の絵本	［常設］昔話・落語の絵本	［常設］昔話・落語の絵本	［常設］昔話・落語の絵本
	ブーさん	■ゆかいな絵本	■七五三！ ■おふろでポカポカ	■びょうきにならないようにするには？ ■お正月がやってくるよ！	■SDGS絵本	■鬼の本 ■MOE絵本大賞 （今年と過去の受賞作品）	■科学の絵本
	赤ちゃん向け	■のりものだいすき！	■パパ・ママだいすき！	■ぽかぽかおふろ	■どうぶつだいすき♪	■ねんねの絵本	■音と歌を楽しむ絵本
	児童特集	［常設］SDGSって何だろう？	［常設］SDGSって何だろう？	［常設］SDGSって何だろう？	［常設］SDGSって何だろう？	［常設］SDGSって何だろう？	［常設］SDGSって何だろう？
	窓横	■おいしいがいっぱい！	■あきであそぼう！	■子ども図書館サポーターのおすすめの本 ■新春読書感想文課題図書	→新春読書感想文課題図書 ■インターネット・SNS、マナーを守って楽しく使おう！	■ギネスおめでとう！かいけつゾロリ	■春をみつけよう
	窓横	［常設］サバイバルシリーズ ［常設］どっちが強い!?シリーズ	［常設］サバイバルシリーズ ［常設］どっちが強い!?シリーズ	［常設］サバイバルシリーズ ［常設］どっちが強い!?シリーズ	［常設］サバイバルシリーズ ［常設］どっちが強い!?シリーズ	［常設］サバイバルシリーズ ［常設］どっちが強い!?シリーズ	［常設］サバイバルシリーズ ［常設］どっちが強い!?シリーズ
	ブックトラック			■クリスマスの本 ■これまでの読書感想文の課題図書	→読書感想文おすすめ本	-	-
ティーンズ	特集１	■芸術の秋　見る？聴く？作る？	■Job Story	■涙活BOOK ■困ったときは神頼み！？	■新しく始める ■若い人に贈る読書のすすめ	→若い人に贈る読書のすすめ	→若い人に贈る読書のすすめ ■雑誌ふろくプレゼント おすすめ本
	特集２	■ミステリー ～意外な結末～	■超！短編	■知っておきたい、お金のこと	■冬を楽しむ	■想いを込めて ■リラックスのすすめ	→リラックスのすすめ ■ティーンズR4年度貸出ベスト
	机		■西部中学校の生徒さんのおすすめの本				
	譜面台	-		■新春読書感想文課題図書		-	-
視聴覚	ＡＶ前	■【DVD】"小説・漫画"実写化作品 ■【CD】JAZZ	■【DVD】おうちで芸術鑑賞 ■【CD】しっとりバラード	■【DVD/CD】クリスマスDVD＆CD ■【CD】紅白歌合戦/日本レコード大賞	■【DVD/CD】冬に楽しむ映画・音楽 ■【CD】アルモニア管弦楽団ニューイヤーコンサート	■【DVD/CD】恋愛映画　恋愛ソング ■【CD】卒業おめでとう	■【DVD/CD】大切な友だち ■【CD】卒業おめでとう

■：新規
→：前月から継続
［常設］：常設